

ホメオパシー統合医療専門校

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー

# CHhom 学校案内

4年制プロフェッショナル

*e*ラーニングコース

6月開講随時入学可



# CHhomの目指すもの

CHhomは、人々がホメオパシーを通して、自らの力で健康になり、本来の自分自身を生きられるように導くプロフェッショナルホメオパスを育成、輩出し、社会に貢献していくことを目指しています。

## プロフェッショナルホメオパスの志

この学校は本気で人間を学ぶ学校であり、プロフェッショナルホメオパスの精鋭を育成する学校です。またホメオパシーを日本に普及するために努力を惜しまずに、協力できる方を募集します。

- 002... CHhomの目指すもの
- 003... CHhomへようこそ
- 004... CHhomは人間を学び、人間を作る学校である
- 006... ZENホメオパシーとは
- 007... 名誉学長挨拶
- 010... 教育理念
- 011... 沿革
- 012... CHhomで学ぶということ
- 017... CHhomの特長
- 021... 取得可能な資格とカリキュラム
- 024... 講師紹介
- 028... 各校案内
- 030... CHhom学生・卒業生の特典
- 030... Q & A
- 034... カリキュラム
- 035... CHhomプロフェッショナルコースご入学までの流れ
- 036... CHhom一年次のイベント
- 038... CHhomの由井寅子学長は、世界のホメオパシー界から学会に招聘されるトップクラスの療法家
- 040... 卒業後の進路・就職状況
- 041... 在校生・卒業生の声
- 045... その他のコース案内

## カレッジ・オブ・ホリスティック・ ホメオパシー (C H h o m) へようこそ

C H h o m (旧 R A H) は、由井寅子名誉学長 (以下由井先生) が 1997年に日本校を開校して以来、一貫してよりよいメソッドを模索し、改良に改良を重ね、現在、ZENホメオパシーに至っています。そういう意味で、ZENホメオパシーは、人の命を扱う治療家・ホメオパスが、どのような技術と心構えが必要であるかを日々研鑽して来た結果であり、集大成であります。

「病氣や苦難は意味があり、誤った生き方・考え方をしていることに気づかせ、正しい道に戻すためのお知らせと捉えることがとても大切 (由井先生)」

そうであるならば、ホメオパスは、

クライアントの今までの生き方・考え方が正しくないことに気づか変えられるよう導くことが治療に導く鍵であり、同時に、クライアントが病氣や苦難に遭遇したとき、基本的にクライアント自身が自分でその軌道修正ができるよう導くことが根本治療と言えるのではないかと考えます。そのようなホメオパス (真の治療家) になるために、由井先生が開発したZENホメオパシーを学ぶ必要があるのです。

ZENホメオパシーの学習は、大きく分けて、「基本」と「実践」に分類されます。

基本は、ホメオパシーの学習と正しい生き方・考え方に関する学習で、eラーニングで学びます。

実践は、由井先生 (あるいは他のホメオパス) が毎週行う生の相談会を見学することです (生で見られない方は後日配信で学ぶことができます)。実践としてのリアルな相談会を見学することで、基本で学んだ知識が知恵となり、真に実力のあるホメオパスの育成に繋がります。

この基本と実践の2つの学習によって、多くの苦しむ人々を救うことができるホメオパスが誕生します。それはC H h o m開校以来の願いであります。

ホメオパシーの創始者ハーネマンも一生涯ホメオパシーのメソッドを改良し続けました。基本は基本として学び、そこからより普遍的なホメオパシーメソッドに発展させてほしいとハーネマン自身も願っていることでしょう。



## CHhomは人間を学び、 人間を作る学校である

CHhomが他のホメオパシー  
の学校と違うところは？

事な使命を持った職業であるからで  
す。

CHhomの特徴はハーネマンの教  
えをベースにしたホメオパシーの知  
識を学べるだけでなく、「人間を学  
ぶ」学校であり、「人間を作る」学校  
であるという点が大きな特徴です。

コロナ禍において多くの方々が、現  
代医学の問題、ワクチン信奉の裏側  
に気づきました。無知に自分の健康  
を他人任せにするのではなく、無明  
に病気を怖れるのではなく、一人一  
人が賢くあり、免疫力、自己治癒力  
を高める事が大切であると気づきま  
した。

CHhomでは由井先生が「人は  
どう生きるべきか？」「人はなぜ病  
気になるのか？」「命とは何か？」  
など私達がこれまでの義務教育では  
教わって来なかった人間が生きるた  
めに大切な「真の教育」を伝えます。  
ホメオパシーの学校になぜこのよう  
な教育が必要なのか？それは、ホメ  
オパスはホメオパシーの治療家とし  
てクライアントの命を扱うという大

自己治癒力を高めるためには、自然  
な生き方、自然な考え方が大事です。  
自然がベースになれば病気は去り、  
人は健康になつて行きます。自然と  
かけ離れ、自然に生きることが何か  
が分からなくなった現代の日本人一  
「ZENホメオパシー」はこういつ  
た日本人を自覚めさせ、本来の自分、  
真の生き方を取り戻すための療法で

ありCHhomではそのための奥  
義を学ぶことができます。

クライアントの体だけでなく心と魂  
を救済することがホメオパスにとつ  
て必要不可欠です。由井先生は言  
います。「人間は体・心・魂の三位  
一体です。体と心と魂は繋がってい  
る体の病気だけを治しても心の病気  
(インナーチャイルド＝未解決な感  
情)と魂の病気(この世的価値観に  
よつて曇つた魂)を癒さない限り、  
根本解決にはならず、それは真の治  
療とは言えません。ですからホメオ  
パシーを中心に、インナーチャイル  
ド癒しや食事療法などを取り入れ、  
体と心、魂の病気まで癒せるホメオ  
パスを育てる事を目指した学校を作  
りました。それがCHhomです。」

由井先生が考えるホメオパスにとつ  
て大切な素地に「謙虚」「感謝」「利  
他」があります。ホメオパスがこの  
素地を作るためには、信仰心を持ち  
霊性を上げる事が大切です。ホメパ  
スがクライアントの自己治癒力を活

性させ病気治療を行うためには、  
まずはホメオパスが自身の自己治癒  
力を高めなくてははいけません。その  
ためにホメオパスは自分のインナー  
チャイルドを見つめ、癒し、信仰心  
を持ち、霊性を上げて行く。自らの  
取り組みを通して得た気づきや、自  
らの生き方をクライアントに示して  
行くのです。

このようなホメオパスにとつて大切  
な人間作りをCHhomでは行い  
ます。ホメオパシーの知識を学べる  
だけでなく、人間を学び、人間を作  
る、ZENホメオパシーが学べる  
のがこの学校の特徴です。

「赦しと感謝を育てるCHhom」  
ZENホメオパシーで幸せになり  
ましょう。

## 世界で唯一無二の生きた学び 由井先生の相談会

CHhomでは、学生・ホメオパスが由井先生による相談会をライブ見学する事ができ、この中でプロのホメオパスによる臨床のケーステイクの仕方を学びます。こういったケースをライブで公開するホメオパスは世界中でもほとんどいません。これまで30年もの間、多くの方々の体・心・魂を三位一体で治療に導いて来た由井先生だからこそできる大変貴重なものです。これこそCHhomが誇る「生きた学び」と言えるでしょう。由井先生がクライアントに寄り添い、投げかける言葉の一つ一つはクライアントだけでなく、見学する学生・ホメオパスの心と魂の琴線にも触れ、そして震える程の大きな感動と共に自分自身に気づきが起きます。これが三位一体で感じる生きた学びです。由井先生の深い解剖・病理・生理の理解と

ホメオパシーの知恵、食や農業、ハーブ療法、栄養学などの観点からの食養生の指示、クライアントの人生と家庭環境から紐解き核心を掴むインナーチャイルド癒しの実践、そして、病気の原因をクライアントの先祖や過去世まで遡りカルマの問題を伝える霊的な見解に基づいた深淵な魂レベルでの霊的治療に至っては由井先生にしかできないものであり、由井先生から学べる唯一無二のものと言えるでしょう。CHhomではこのように人を真に癒すための統合的なホメオパシー治療を由井先生の相談会を通して学ぶことができます。

由井先生が行う相談会は今後いつまでもあるとは限りません。今、この貴重な機会に学生・ホメオパスはライブでこの生きた学びを体験してください。

## (参考) ホメオパシーの健康相談会について

ホメオパシーの健康相談では、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)認定のプロフェッショナルホメオパスが様々な心、体の症状の対応の健康相談を行っています。たとえば、怪我や事故などの急性症状から、花粉症やアトピー、うつやパニックなどの慢性症状、自己免疫疾患やガンなどの難病などあらゆる体や心の症状のご相談をしています。

忙しい日々を追われ、心身ともに疲れている方、子育てや職場のストレスにお悩みの方、妊娠、育児のお悩みの方、ペットのケアの相談に至るまでホメオパシーは心と体の健康に関する多様なニーズにお応えしています。皆様が自分らしさを取り戻せるようにホメオパスがお手伝いします。ご興味のある方はJPHMA認定ホメオパスの健康相談会をご利用願います。



由井寅子 CHhom 名誉学長によるホメオパシー健康相談会

## ZENホメオパシーとは

ZENホメオパシーとは、ハーネマンの教えをベースとし、体・心・魂を三位一体で治療するホメオパシーの三次元治療に、食の改善、インナーチャイルド癒し、信仰心の向上を取り入れ総合的に体・心・魂を治療するアプローチです。



由井先生の30年の臨床経験を通して到達したZENホメオパシーは、

1、体を健康にするために食生活を正す。

自然農の作物を食べる。規則正しい生活をする。不自然なものを体に入れない

2、心を健康にするためにインナーチャイルド癒しをする。

欲である未解決な感情（インナーチャイルド）を解放する

3、魂を健康にするためにこの世的価値観（善悪のある価値観）を解放し、愛せる範囲を広げる。

善悪で人や自分を裁くことを止め、駄目な人や自分を受け入れ、許し、愛する

4、心と魂に喜びをもたらすために、信仰心を高める。

信仰心とは、生かされていることへの感謝と尊敬の心であり、生かされていることに気づけば気づくほど、

感謝と敬いの心が増える

5、心と魂を健康にするために霊性生活をする。

感謝・謙虚・寛容・尊敬・信仰心・慈悲心・利他の心をもって生きる

6、1〜5をサポートするために、ホメオパシーのレメディ、マザーチンクチャーを選択する。

特に、心や魂にも届く、霊水や聖地のレメディを使う

7、1〜5のサポートと体・心・魂の浄化のために祝詞・心経を唱える。

人は、過去世の意識、先祖の意識、本人や先祖のカルマ、あるいは、障

りの影響によって、体・心・魂が曇ってしまふ。その曇りを取り、浄化するために祝詞・心経を唱えることが有効

以上がZENホメオパシーの根幹をなすものです。

皆さんは、4の信仰心を高める、5の霊性生活をする、7の祝詞・心経を唱えるというところを疑問に思うかもしれません。しかし、私たちは潜在意識に膨大な過去世の意識、先祖の意識、カルマを抱えており、積極的に心と魂を磨いていくことが生きる目的としてあります。

皆さん、目に見えるものだけを治療するのではなく、人の最終的な目的、悟りの世界へ行くための導き手、そのようなホメオパスを目指しませんか。

# 名誉学長挨拶

治療家

人命扱仕事

愛行

が

由中実子



ゆいとらこ Torako Yui

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHhom 名誉学長  
一般財団法人日本ホメオパシー財団  
日本ホメオパシー医学協会 JPHMA 名誉会長

## 自己治療力を使い 自ら治るホメオパシー

未解決な問題を浮上させ浄化し、自分本来の命を取り戻すための治療法であることを覚りました。

私は自身の辛い潰瘍性大腸炎がホメオパシー治療によって治癒した体験があります。ホメオパシー治療の根幹であるレメディー（原物質を希釈振盪して作られる）の刺激によって自己治療力が触発され、急性症状（高熱と体の痛み）を出して潰瘍性大腸炎は治癒していったのです。この高熱と体の痛みは二十六年歳の時のインフルエンザの急性症状で、薬で抑圧したために未解決となっていたものです。同時に当時抑圧していた怒りや悲しみの感情もどつと出てきて辛かったです。怒って泣いてを繰り返す中で心が軽くなったのを実感しました。体だけでなく心が生き生きとしてきました。この体験は私を大きく変えました。体の症状も心の症状（感情）も未解決なものは浮上しなければ、流して浄化することもできません。ホメオパシーは自己治療力を刺激し、

それから私は英国のホメオパシーの学校に五年間通い、認定ホメオパスとなり、ホメオパシー療法の専門家となりました。すぐに私一人では多くのクライアントに対応できなくなり、日本でホメオパスを育成するために、CHhomの前身であるロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー（RAH）を開学、十三年間運営し、五〇〇名以上のホメオパスを輩出しました。そして二〇一〇年、ホメオパシーの限界を突破するために、ホメオパシーの原点（ハーネマンの原典）に立ち返り、それを土台として現代の難病にも適応できるZENホメオパシーを教えるためにCHhomを設立しました。

私が感じていたホメオパシーの限界とは、クライアントの病気が治っても再発して戻ってくることで、難病のクライアントが治癒していかないということでした。その中で分かった





世的価値観の解放を推し進めることができたなら、確実にインナーチャイルド癒しを加速させることができま

す。また、私たちが食べた物から私たちの体は創られます。ですから、食べ物が悪ければ、それが直接的に体を病気にしてしまいますので、幾らホメオパシーのレメディーをとっても健康になることはありません。体の健康作りの基本は、よい食事です。

そしてそれは、自然な種と自然な土、農薬や化学肥料を使わない自然な農業でできた自然な作物からもたらされると信じています。よい食事をするという土台があつて初めてレメディーの効果は上がるのです。現代人は予防接種や薬、農薬や化学肥料漬けの作物、遺伝子組換えや雄性不稔種から作られる不自然な作物、化学調味料、人工甘味料などの食品添加物など不自然なものが大量に体内に入り、またそれら食品のミネラル不足によって体の病気になっている人が多いのではないかと考えるよう

になりました。

このようにして「人間は体・心・魂の三位一体である」ということを念頭に、ホメオパシーを中心とし、インナーチャイルド癒しや食事療法、ハーブ療法など他の方法も取り入れ、体と心、そして魂の病気まで癒せるホメオパスを育てることを目指した学校を新たに作ることを決意しました。それがC H o m ・ホメオパシー統合医療専門学校です。

病気の一番の大元は自分自身を愛せないことです。患者は意識的、無意識的に自分をダメだと責めるインナーチャイルドがいるから病気になるのですから、治癒するためにはダメな自分を受け入れなければなりません。患者がダメな自分を受け入れられるようになるためには、治療家の無条件の愛が何よりも必要なのです。愛が治療家の土台です。その土台の上にホメオパシーもあるのです。ホメオパスを目指す皆様には、愛の力を増やしてほしいと願っております。感情が乱れる毎に、な

ぜ腹が立つのか、なぜ悲しく死にたくなるのかを自分に問いかけるのです。原因は外にはありません。怒って泣いている自分に声をかけ、慰め、そしてその価値観は正しいのかを考え、そしてダメな自分でも許すことで、私たちは愛ある人間になれるのです。そして人生を幸せに生きられるようになります。それらの体験こそが治療家としてクライアントに寄り添うことができる素質となります。ですから、C H o mではホメオパシーだけでなく、自分を愛し、人を愛し、自然を愛せるようになるための教育を情熱と愛をもって行っております。

また、魂の健康を取り戻すために不自然な価値観（この世的価値観）の解放が重要であることはすでに述べた通りですが、自然な価値観（霊的価値観）、何を信じるかという部分で、宗教ではなく、信仰心は大切だと思っています。信仰心は自分より偉大な存在（神や仏）がいることを信じ、生かされている理を知り、

謙虚に感謝をもって生きる源だと思えます。自然の偉大さ、太陽の偉大さを感じられないとしたら、それは私たち自身がもっている大切なものを見失ってしまっているということです。私は私たちの中に偉大な存在と同じ、高邁な理想をもった魂が宿っていると信じています。それが証拠に花を見て美しいと思ひ、大自然に畏怖し、太陽に感謝するのです。それはそこに自分自身の本質を見ているということなのです。自分本来の命を生きる上で信仰心はとても大切であると考えています。

ホメオパス自身のインナーチャイルドを癒し、この世的価値観を解放し、生き方、考え方を正し、信仰心を高め、ひいては霊性を高め、魂・心・体を一体として統合的に治癒に導いてゆくことのできる大きな器のホメオパスになられることを心から願っております。

# 教育理念

ホメオパスは自らの心を開いて、苦しんでいるクライアントに寄り添い、体・心・魂の三位一体でその人を治癒に導く職業です。

そのためには、ホメオパス自身が自分を見つめ、傷ついたインナーチャイルドを癒し、間違ったこだわりや価値観を手放し、自らの靈性を向上させていくことが必要になります。そうすることで初めてクライアントの苦しみに共感できるからです。人を癒すためにはまず自分を癒すことが大切なのです。

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (Chom) ではホメオパシーの学びだけでなく、由井先生とともに学生一人一人が、自分自身の心に問いかけ自分を癒して行く体験と気づきを分かち合うインナーチャイルド癒しの学びや、

それぞれの人生をより良く生きるための靈性の向上の学びが盛り込まれております。このような学びは他の学校にはないChom独自のものとなります。

Chomの教科書は、ホメオパシー創始者であるサミュエル・ハーネマンの著書『医師のオルガノン第六版』、『慢性病論 第2版』、『マテリア・メディカ』などでホメオパシーの基礎原理を学びます。これらは由井先生監修の下、複数名の翻訳者達によつて古典ドイツ語から直接日本語へと忠実に翻訳されたものです。ハーネマンの遺したホメオパシー哲学の書を正しく日本語で読むことができるのもこの学校の誇れる点の一つです。

『マテリア・メディカ』の授業では、レメディーの原材料となる植物、動物、鉱物などの特徴や性質、さらにそれらの靈的本質について学びます。また、そのレメディーを使って心身の症状が改善された

ケースの紹介や演習を行うことで、より実践的に学ぶことができます。

原理を基本とする『オルガノン講読』の授業では、書籍『医師のオルガノン』を由井先生による解説を交えながらハーネマンの考え方や実践の変遷が読み解きます。(テキストは第1版から6版までのどの時代に書かれたのが分かるようになっています。)パラグラフ(段落)毎にハーネマンの考えを当時の歴史的背景も考慮しながら解説して行きます。

『慢性病論』の授業では、先祖から現代へと受け継がれた病気のかかる傾向であり、慢性病の大元である「慢性マヤズム」について学び、ホメオパシーでの「マヤズム治療」を教えます。

現代には予防接種や薬などから来る「医原病」、食事から来る「食原病」、環境から来る「環境病」、インナーチャイルドや間違った価値観から来る「自己卑下病」「罪悪感

病」など様々な難病が蔓延しています。これらの現代病への対処として、由井先生が考案したホメオパシーのメソッド「三次元処方」を学ぶだけでなく、食養生の知恵やインナーチャイルド癒しと靈性を向上するための学びを加えた由井学長の「ZENホメオパシー」を勉強していきます。

多くの授業の中で由井先生のケースティクを学ぶ機会があり、そこでクライアントをどのように観察し、質問し、言葉のレメディーをかけるのか、そしてクライアントに必要なレメディーをどのように選択していくのかがとてもよく分かる生きた学びが得られます。

Chomではホメオパシーの理論と実践を学びながら、ホメオパスに必要な技術や感性を養うだけでなく、魂のホメオパスにとって最も必要な心のあり方や靈性の向上を4年間で身につけて行くのです。

# 沿革

日本で初めてのホメオパシー専門校であり、多くのプロフェッショナルナルホメオパスを輩出している、歴史と実績を兼ね備えたホメオパシーの名門校です。

プロフェッショナルコース在生 178名  
RAH・CHhom 卒業生 1200名  
(2023年9月現在)

日本初のホメオパシー専門校ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) として設立。20年におよぶ歴史と実績をもち、14年目(2010年5月)にホメオパシー統合医療専門学校カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) として新たに出発。

一九九七年 四月	ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) 東京校 (パートタイムコース三年制) 開校
一九九八年 四月	日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) が設立し、RAH が認定校となる
一九九九年 四月	英国ホメオパシー医学協会 (HMA) 認定校となる
二〇〇〇年 三月	RAH 一期生卒業 英国より HMA 試験官を招き、第一回 HMA 認定試験を在日英国大使館で実施。RAH 卒業生から初の HMA 認定ホメオパス誕生
二〇〇二年 四月	RAH パートタイムコースが四年制に移行 RAH 福岡校開校
二〇〇三年 四月	RAH TV 同時中継システムを使った講義を取り入れる
二〇〇四年 四月	RAH 大阪校開校
二〇〇四年 十月	RAH が英国認定ホメオパス連合 (ARRH) 受験資格認定校となる
二〇〇五年 一月	RAH が英国全ホメオパス統合協会 (CORH) 容認校となる
二〇〇五年 五月	RAH アニマルホメオパス養成コース開講
二〇〇六年 五月	英国教育技能省 (DfES) に RAH 英国本校が認可される
二〇〇六年 九月	JPHMA がホメオパシー国際評議会 (ICH) のメンバーとなり、ホメオパスの職業保険運用により JPHMA ホメオパス認定制度が実現。RAH 卒業生から JPHMA 認定ホメオパスが誕生
	RAH 英国本校開校 RAH 英国フルタイムコース・日本フルタイムコース・イブニングコース開講
	RAH 札幌校、京都校開校
二〇〇七年 四月	RAH 名古屋校開校
二〇〇七年 八月	RAH 仙台、鹿児島、金沢分校開校
二〇〇八年 四月	RAH 沖縄校開校
二〇〇八年 六月	日本ホメオパシー財団設立
二〇〇九年 十一月	より統合的に人間を治癒に導くために、ホメオパシーが中心だった RAH からインナーチャイルド癒し、霊性の向上も含めたホメオパシー統合医療専門学校カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) 東京、札幌、名古屋、京都、大阪、福岡、沖縄校 同時開校
二〇一〇年 五月	CHhom ファミリーホメオパス養成コース開講
二〇一一年 五月	プロフェッショナル及びファミリーホメオパス養成コース、RAH 卒業生フォローアップコースの eラーニング配信が始まる。また、eラーニング配信に伴い、東京校、札幌校、名古屋校、大阪校、福岡校のみに集約
二〇一一年 七月	CHhom ファミリーホメオパス養成コース1期生卒業。初の一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定ファミリーホメオパス・ホームキットアドバイザー誕生
二〇一二年 十月	CHhom インナーチャイルドセラピスト養成コース開講
二〇一三年 六月	ZEN ホメオパシーの認定がスタート
二〇一三年 十一月	インナーチャイルドセラピスト養成コース eラーニング配信が始まる。初の一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定インナーチャイルドセラピスト誕生
二〇一四年 三月	CHhom プロフェッショナルホメオパス養成コース 1期生卒業
二〇二二年 六月	全コース eラーニングへ

# Chhomで学ぶZEN

現代におけるさまざまな難病にも適応できるZENホメオパシーを学び、統合医療家を目指す。

治療家になるために必要なことは何でしょうか？

**Chhom事務局（以下事務局）**… どのような治療家においても最も大切なことは、自分を見つめ、自分を癒せたかどうかです。自分の中にいる愛されず傷ついたインナーチャイルドを認め受け入れ愛することが自分を癒すことであり、自分を癒せた者だけが人を認め受け入れ愛することができます。人ができ、それが人を癒す治療家の資質であると考えます。ですからChhomでは、折々に自分を見つめる機会を設け、インナーチャイルド癒

しの授業も取り入れていきます。今、なぜホメオパシー統合医療専門学校Chhomなのか？

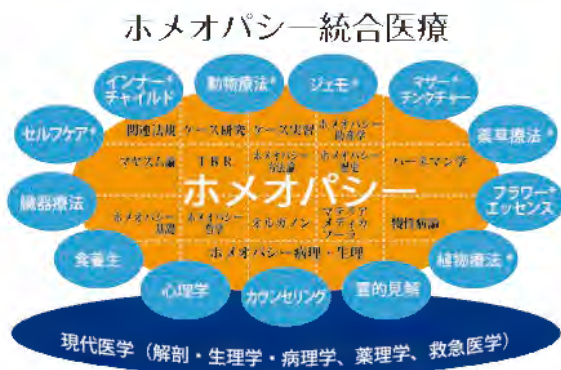
事務局… 難病の多い現代日本の状況に対応できる、精鋭のホメオパスを輩出するためには、よりホメオパシーの専門性の高い人材を育てる必要があります。また、体、心、魂の病気をさまざまな角度から治療に導いていくためには、ホメオパシーに加えて、魂を傷つけるこの世的価値観を解放するインナーチャイルド癒しなども統合して、人間を物質的な体だけでなく目に見えない心をどう癒すか体系的に

学ぶことが重要になります。ホメオパシーおよびホリスティックの授業内容をさらに充実し、より深く学べるようにした、名実ともに本格的なホメオパシーの統合医療校がChhomなのです。これは世界に類のない現代人に合わせた「オンリーワンの特長」が数多くあります。

Chhomの「オンリーワンの特長」とは何ですか？そして、ZENホメオパシーとは何でしょうか？

事務局… 数多くありますので、そのうち、いくつか代表的なものをご紹介します。

①プロのホメオパスの正式な資格。現代の難病（医原病、食原病、インナーチャイルド、そして信念の病気）を治療に導く世界最先端のZENホメオパシーメソッドを習得



\*オプション授業は有料となります。

②ホメオパシーを、現代西洋医学と同じ国の第一医学として推進する世界最大のホメオパシー大国・インド政府A Y U S H（伝統医学省）のホメオパシー部門との協力関係の下、ホメオパシー医学を推進

します。そして試験に合格すれば、一般財団法人日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）の認定ホメオパスの資格が取得できます。

③JPHMAの認定ホメオパスになるとホメオパスの職業保険に加入。ホメオパシー職業保険に入って、そのプロであると言えます。

④ホメオパシーの創始者であるハーネマンの基本原理をしっかりと学ぶことができる学校。ハーネマンなくしてホメオパシーはありません。Chhomでは、ハーネマン著作の原典（ドイツ語）から直接日本語訳したテキストを用いて教えています。ハーネマンの文章が難しいところは一つひとつ解説していきます。



⑤ホメオパスとして実践と研究を積み重ねた講師陣。

**Chom**では、ZENホメオパシーを確立し、その第一人者の由井寅子先生をはじめ、医原病、難治疾患の治療において最先端のZENホメオパシーを習得した実践経験の豊富なJPHMA認定ホメオパスを講師に学びます。

現代医学の救急救命や病理・生理、解剖、助産学、薬学、薬草学などの分野では国内の専門講師を招聘して学びます。RAH時代を含め、100名以上の海外講師を招聘して学んできており、がんなど様々な疾患へ有効なホメオパシー標準処方であるバナジープロトコルを確立したインド・コルコタのバナジー父子、インド政府ホメオパシーリサーチ

中央評議会長官で、皮膚疾患へのホメオパシーの治療についてのホメオパス向けのテキストをつくったRKマンチャンドラ博士をはじめ、クラシカルのケント派からハーネマン

に戻るためにハーネマン研究者でもあるカナダのルディー・バースパー氏、オランダのエワルト・ストットラー氏、オーストラリアのジョージ・デイミトリアディス氏などを招聘し、ハーネマンのホメオパシーを徹底して学びました。また、現代医学のアロパシー医であり、鍼灸師として、スピリチュアリストとして活動するホメオパス、ユブラジ・シャルマ氏、フランスの小児科医ホメオパスのジェルジュ・グランジョージ氏からは霊的ホメオパシーを学びました。そして、予防接種の問題を紐解くホメオパシー生化学者のトレバー・ガン氏の教えは多くの学生たちに衝撃を与えまし

た。**Chom**は様々な分野で実践や成功例を持つホメオパスの方々を招聘し、ありとあらゆる問題にも対応できるホメオパシーを導入しました。

⑥病気の原因が心の苦しみから来る。そこを徹底して網羅するために、そして、より日本人にホメオパシーが適応し効果が上がるように、日本人の心の癖である罪悪感や、自己卑下をする傾向を減らすことを目的としたインナーチャイルドの癒しを教育するコースを作りました。これはホメオパシーを三次元処方で使い病気を治しても心が怒りや悲しみ、恐れから逃れない場合、また同じ病気が戻ってくることで分かりました。心の傷（インナーチャイルド）を治さねば病気は去ることがないことが多くのクライアントを通して分かるからです。ホメオパシーでは心の感情を修復で

きてもその感情を出させた価値観（信念）は治すことができないのです。そこは意図的に自分を見つめその価値観で裁かれ泣いている自分（インチャ）に優しく声をかけ慰めてあげるまで癒えることはないので。生きにくく思っている人、人間関係がうまくいかない人にとつてはインナーチャイルド癒しはよりよく幸せに生きるための必須となるでしょう。

⑦霊性を上げることが目的とした授業。病気の原因は神因から来ることもあるということです。私たちは生きているのではなく生かされていることを自覚し信仰心を高め、日々感謝と和をもって生きるために自分に起きたその時は苦しいと思える出来事でも自分に必要があつてこの出来事が起きたのだと受け取れる哲学を身につけることです。そのためにこの世の見方。この出来

事はありがたいに変えていけることができるようになります。そのためにも神仏に守られ生かされていることを知り感謝と謙虚さを取り戻し幸せに生きてほしいと願うのです。

「ハーネマンの原点に戻り、学んでいく…」とは、具体的にどのようなことでしょうか？

**事務局**…ホメオパシーは、二〇〇年前ドイツで、サミュエル・ハーネマンによって体系化された現代医学とは別の医学です。ホメオパシーの原点はハーネマンにあり、ホメオパシーを学ぶということは、すなわちハーネマンに学ぶことです。**Chom**では、真のホメオパシー医学を身につけるために、ホメオパシーの祖であるサミュエル・ハーネマンの原典から、「ハーネマンが真に何を伝えたかったのか」をしつかりと学びます。ハー

右からChhomの教科書  
 ●ポニングハウゼン・レバートリー  
 ●マテリア・メディカ・プーラ  
 ●慢性病論 マテリア・メディカ  
 サミュエル・ハーネマン著  
 慢性病論(第二版)  
 医術のオルガノン(第六版)

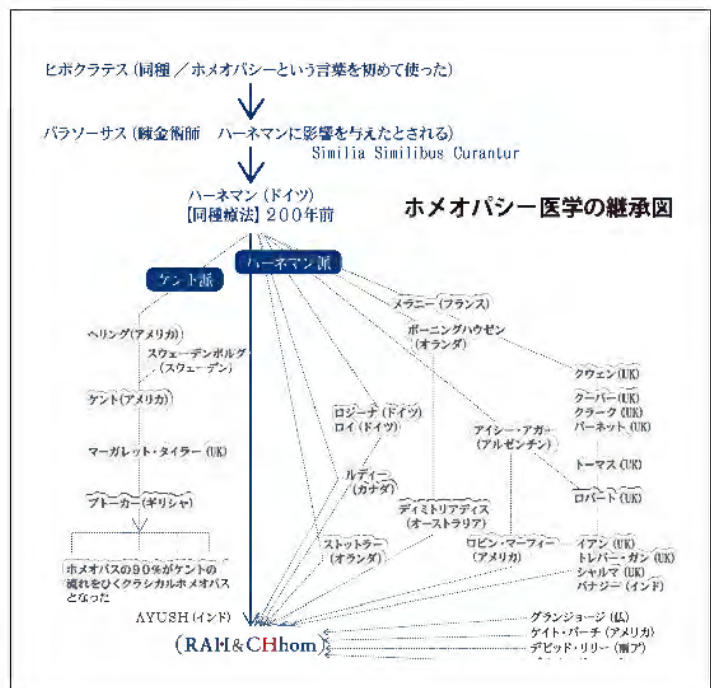


ネマン以降の二〇〇年間を通して、ハーネマンの原典の誤った翻訳や、後世のホメオパスたちの誤った解釈を基にホメオパシーが広まってきました。そのためにホメオパシー医学の発展が停滞し、現代のホメオパスの治療率低下の大きな一因となっていると考えられます。その意味からも、ハーネマンの原典に立ち返り基礎を学ぶことがとても大切なことなのです。例えば、合気道でも空手でも師範から基礎をしっかりと学ばなければ、ある段階でそれ以上の上達が望めなくなるのと同じです。正しい知識(基礎)を習得した者だけが応用することができるのです。

具体的には、ホメオパシーの基本原理が書かれた「医術のオルガノン第六版」、レメディの実証結果が書かれた「マテリア・メディカ・プーラ」、「慢性病のマテリア・メディカ」、これらのマテリア・メディカから忠実につくられたレバートリー(症状からレメディを探るための書)である「ポニングハウゼンのレバートリー(TBR)」,そして慢性病を治すための指標となる慢性病論などをChhomの教科書として使用します。

さらに、ハーネマン研究では最先端を行くオランダのエワルト・ストットラー氏、カナダのルディー・バースパー氏、オーストラリアのジョージ・デIMITリアイス氏との連携のもと、ホメオパシーの土台となるハーネマンの著作に基づき、基本原理、マテリア・メディカを忠実に、深く教えます。その上で日本にあつた三次元処方完成しました。それは、由井先生が十年かけて、様々な方法をクライアントに施し、体験的に一番良く治療に導いた方法

三次元処方です。Chhomはハーネマンを復興させ、真実のホメオパシーを学べる世界でも数少ない学校と言えるでしょう。  
**事務局**..セルフケアのための勉強であれば少ない時間でよいでしょうが、プロフェッショナルホメオパスの精鋭を輩出するためには、授業内容の充実が不可欠です。ホメオパシー医学は、現代医学とは症状へのアプローチが正反対の医学体系であるため、常識的な知



識や価値観とは正反対の知識や価値観、さらに新しい言葉や概念を受け入れ学んでいく姿勢が大切です。そうしてハーネマンが真に何を伝えようとしていたのかを理解し、ホメオパシーの基本、考え方を時間をかけてしっかりと身につけることが大切です。またホメオパスは人の命を預かる職業ですから、自己の肉体的な成長なくしてクライアントをしっかりと見ていくことはできません。クライアントの言動を偏見を持たずに見聞きし、



事実をしっかりと見極めること、さらには、己の心を鎮め、自己の感情に振り回されることなく、相手を受け入れていくようになることがとても大切になります。このような人間的成長を果たし、学びが成熟されていくには時間が必要であり、ホメオパシー医学、さらに他の自然療法を学び、統合的に自己治療力を触発し、治療に導けるホメオパスとなるように日々、切磋琢磨していくことが大切になります。

**eラーニングによる自宅学習で学ぶことができる新コースを作ったのはなぜですか？**

**事務局**…二〇一一年の日本の大震災からも推察できるように、地球規模での地震、天災等、不測の事態がいつ起こっても不思議ではない時代に突入しています。さまざまな方法をクライアントに試し体験的に

一番良く治療に導いた方法、三次元処方です。そのような状況になってもホメオパシーを学びたい方が継続して学んでいけるようにホメオパシーの学校が存続していけるように学ぶ環境を多様化し、インターネットで学べるeラーニング環境あるいは通信教育でテキストのみで学べる環境を作っていくように見直しを行うこととしました。

また、eラーニング環境を導入することにより、これまで学びたいが遠隔地のため学校に通うことができないという方々のご要望にも応えることができ、全国津々浦々の方々、海外の方々も学べることとなります。

**入学試験、進級試験、卒業試験をなぜ行っているのですか？**

**事務局**…Chhomは、「ホ

メオパシーが西洋医学・アーユルヴェーダと並んで第一医学である」インドのホメオパシー大学のように、本気で本格的に学ぶ学校で、プロのホメオパスを育成しています。そのため、Chhomにおいては、まず、教える内容を充実させています。

次にプロのホメオパスとして活動していくためには、素養とホメオパシーに取り組む意欲、知識、実践が必要となってきます。そのためChhomでは、入学の時点で入学試験を行い、入学される方の適正等を確認させていただきます。その後、知識、実践を修得するために、自らの学びの強み、弱みを確認し、今後に反映していただくために試験を行っています。

**Chhomを卒業するとどのような資格がとれますか？**

**事務局**…Chhomを卒業するとプロのホメオパスの正式な資格を取得するために必要な、一般財団法人日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験受験資格が得られます。また、Chhomにおいて、定められた授業単位を修得し、卒業後、定められた認定試験に合格すると新たな資格が付与されます。付与される資格は以下のとおりです。

・JPHMA認定ホメオパス(同種療法士)

・ホメオパシー統合医療アドバイザー

・JPHMA認定アニマルホメオパス(動物同種療法士)

なお、新たな資格の取得にあたっては、現代医学の解剖・生理・病理、ホメオパシーの



JPHMA ホームオパス認定証

病理・生理、ホームオパシーをしつかり身につけることが基本であり、資格取得の前提となります。

**卒業してホームオパスとして自立するためには何が大切ですか？**

**事務局**…ホームオパスとして自立するために、いくつかの大切なことがあります。

一、治療に導けるプロのホームオパスになることが大切です。

そのために **Chom** では、事実・実践重視の教育を行い、治療に導ける実力のあるホームオパスを育成します。ちなみに、事実・実践重視の教育は授業にいろいろと組み込まれています。たとえば、三、四年次に授業以外にケーススタディー○○ケース相当以上を見ていただきます。ホームオパシーの実践にあたっては実際のケースを数多く見ることが大切であり、**Chom** では由井先生を含めプロホームオパスの実践ケースを○○○○ケース相当以上から学んでい

ただく機会を準備しています。

二、ひとりひとりがホームオパスとしての資質を養うことが大切です。

ホームオパスは、自己の人間的な成長なくして、クライアントの方々をしつかり見ていくことはできません。自分と異なる意見や見識に出会っても相手を受け入れる姿勢あるいは訓練も必要となります。そして、人は誰しも、インナーチャイルドを抱えているということを理解することです。インナーチャイルドは、人とのコミュニケーション、人間関係、自分の見方、人の見方や自己実現、病気など社会生活を営む上で、大きな影響があります。またインナーチャイルドが癒えていないと人生の数々の障害、困難を乗り越えて行くことが困難になるだけでなく、自己成長ができず

にとどまってしまう。したがって、インナーチャイルドの癒しを自発的に行っていくことは大切なことです。「すべての原因は外になく内にあります。」ゆえに自分を見つめること(内観)も大事なのです。なお、**Chom** では、授業の中でもインナーチャイルドを扱い、実習なども行っています。

三、ホームオパスとして自立される方は、忍耐を持ち、一生をかけてホームオパシーを学んでゆくという心構えが大事です。その意味からも、卒業後も学び続けることが大切です。

**Chom** ではハーネマンの原典を徹底的に教えています。学生だけでなく、卒業したホームオパスも学べるしくみになっており、授業の聴講およびホームオパス向けの強化学習も行っています。卒業後も

レメディ選択の根幹となるハーネマンの哲学、方法論を学び続け、また新しいメソッドも取り入れることにより、実際の健康相談においてクライアントの治癒率が向上しています。

**Chom** は、事実、臨床、成果重視の学校であり、アカデミックで開かれた学風、指導方針をとっています。



# CHhomの特長

## ハーネマンのホメオパシー哲学、基本原理を学ぶ

CHhomでは、歴史的に見てタイラー・ケントからホメオパシーを学ぶ継承の流れをハーネマンから直接学ぶ流れに軌道修正しています。ホメオパシー哲学、原理の授業では「ハーネマンが真に何を言いたかったか」を徹底的に学ぶホメオパシーの基礎を身につけていただきます。柔道でも踊りでも基礎をしっかりとしないとプロにはなれません。基礎ができて初めて、ホメオパシーを実践、応用することができます。



ホメオパシーの創始者  
サムエル・ハーネマン

リマ・ハンドリー著  
「晩年のハーネマン」  
ホメオパシー出版刊



## ハーネマンのマテリア・メディカを学ぶ

ドイツ語の原典から直接日本語に翻訳した教科書（オルガノン、慢性病論、MM等）より、ホメオパスとしての力量を左右する正確、精緻な情報に基づくレメディー選択手法を学びます。



由井寅子 編  
TBRマテリア・メディカ+



CHhom 編  
TBR改訂クロスリファレンス拡張版



サムエル・ハーネマン 著  
医術のオルガノン〈第六版〉



サムエル・ハーネマン 著  
慢性病論〈第二版〉



ボーニングハウゼン

## 歴代のホメオパシーの先人達の知識、知恵から学ぶ

ハーネマンからホメオパシー原理を、ボーニングハウゼンからレパートリーを、バーネットからワクチン病を、パラソーサスから錬金術を、ラデマッチャーから臓器療法を、シュスラーから生命組織塩を、トムソンから薬草を、先人たちの知識、知恵から治す方法を学びます。



パラソーサス



## ケーステイクの仕方とその分析を学ぶ

ケース研究・分析により、クライアントへの対応方法、レメディーの選択など、事実、実践を見て体感・体験します。

※ CHhom 直轄のホメオパシーセンター本部（東京・大阪）にて、ホメオパシー健康相談会を行っております。3 年次、4 年次には、由井先生や他のプロフェッショナルホメオパスの健康相談時に横に付いてケーススタディを行い、100 ケース相当以上の症例を

体験することが必修となります。4 年次には、ご自身でクライアントを選択し、五例の改善ケースを提出する必要があります。なお、四年間の在学中には、インナーチャイルドを癒すためにも自らもホメオパスにかかることをお勧めしています。



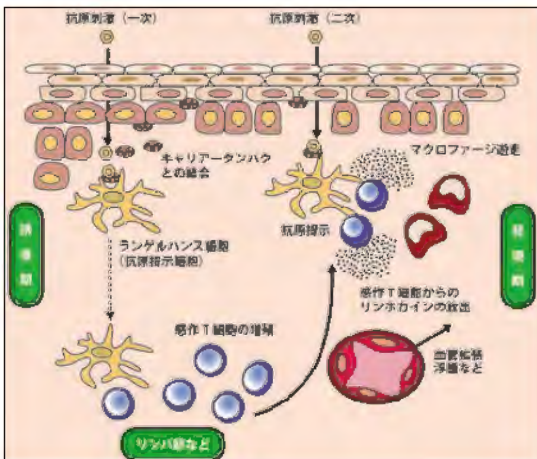
## マヤズム病理を学ぶ

ホメオパシー的な観点での病気の考え方、マヤズムに関して、しっかり学びます。

※マヤズムは病気を作り出す土壌であり、すべての深い病気は最終的にはこのマヤズムから芽を出しているという考えがあります。



ジョアン・ゴットフリート・ラデマッチャー



病理・生理（アレルギーのしくみ）

## 症状からみる臓器の疾患を学ぶ

ドイツの医師、臓器療法を発案したラデマッチャーが確立したマザーチンクチャー学を学びます。また、マザーチンクチャーの実践的な使い方を学びます。

植物の生長するエネルギーが凝縮されたマザーチンクチャーは、弱った臓器、傷ついた臓器の新陳代謝を促し、人体の健康に有用であると言われています。

## ホメオパシー病理・生理を学ぶ

現代医学の病理生理を学んだ上で、ホメオパシー的な観点での病理生理のとらえ方も学びます。また、ホメオパシーと現代医学の考え方の違いを学びます。

## 医原病へのホメオパシー的対処を学ぶ

日本人はヨーロッパ人の 40 倍の抗生物質をとっていると言われています。多くの薬をとり入れている日本人の現状に即し、医原病に対応したホメオパシーメソッドを学びます。

## 現代の難病治療としてのZENメソッドを学ぶ

国際的な学会でもセンセーションを巻き起こした由井先生のZENメソッドを学びます。ZENメソッドとは、由井先生の開発したメソッドであり、医原病大国である日本国民に合ったアプローチです。ZENメソッドにより、多くの難病である自閉や奇形を治癒に導いています。



由井先生によるインナーチャイルドの授業より～触れる～

## ホメオパスになるべく心の取り組みの実践 「インナーチャイルド」の癒し

ホメオパスになるべく心の取り組みを行っていくために、通常の授業の他にインナーチャイルドを見ていきます。心の教育や終末ケアのための死の教育などの授業により、自分のこだわりに気づく訓練を行っていきます。



酒向 猛 先生による現代医学・臨床病理の講義

## 現代医学（解剖生理・病理）を学ぶ

現代医学の基礎をしっかりと身につけます。解剖生理（人体の成り立ちと生理的動態）の他に、臨床病理（人体と病のメカニズムや症状）、救急医学（緊急性のある症状）を学び、人体構造、病気の進行を理解します。特に現代医学、解剖生理を理解することは、国の枠組みの中で責任を持った行動をとるためには必要不可欠となります。



小谷宗司 先生による日本の薬草学の講義

## 植物学・毒物学・薬草学を学ぶ

植物学・毒物学・薬草学も重要な学問です。特に薬草は、人体の健康維持に効果的に用いることのできる療法として重要です。CHhomではヨーロッパやアメリカに伝わる伝統的な薬草学を学ぶとともに、さらに日本古来の薬草学を小谷宗司先生から学びます。

## ホメオパシー自然農法、薬草、ハーブ見学と収穫

静岡県函南の豊受自然農園にてホメオパシー自然農法で育った生命力に満ちた薬草、ハーブの生育やその環境を見学し、実体験します。



静岡県函南 春の花摘みツアー



静岡県函南 春の花摘みツアー



静岡県函南 秋の収穫祭



静岡県函南 秋の収穫祭



静岡県函南 秋の収穫祭

## 生命組織塩、栄養学を学ぶ

ドイツ人医師ホメオパス、ウィルヘルム・シュスラーが発案した生命組織塩（ティッシュソルト）について学びます。シュスラーは、病気は12種類の生命組織塩のいずれかの過不足によって生じ、生命組織塩のレメディーをとることで、身体本来の機能である不足ミネラルの吸収や過剰ミネラルの排出が促進され、崩れたミネラルバランスが整えられることで健康になることができると思われました。



ウィルヘルム・シュスラー

## 取得可能な資格とカリキュラム

— プロフェッショナルホメオパス養成コース4年制コース(eラーニング) —

プロフェッショナルホメオパス養成コースは、プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能および現代医学の基礎知識を学べる講座です。ホメオパシーに特化した授業を専門的に学べます。

また、ハーブ療法、フラワーエッセンスなどのホメオパシー統合医療の科目はオプション(有料)で学ぶこともできます。「ホメオパシー eラーニングコース」は日本全国、海外からも自宅にいながら都合のよい時間に学ぶことができます。

- 難病の多い現代日本の状況に対応可能な、「体・心・魂を癒す」プロフェッショナルホメオパスを養成します。
- 専門的なホメオパシーの講義に加えて、現代医学の基礎も学びます。
- 入学試験として筆記(一般教養+論文) および面談を実施します。
- 卒業した際には日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)ホメオパス認定試験の受験資格を得ることができます。

表1に示しているように、4年制プロフェッショナルコースの必修の所定の授業を履修した際には「JPHMA認定ホメオパス」の受験資格が取得できます。またオプションの所定の授業を履修した際には、「JPHMA認定アニマルホメオパス」の受験資格が取得できます。「日本のフラワーエッセンス療法士」、「インナーチャイルド・セラピスト」の資格取得コースを開催しています。

表1. 4年制コースの必修、オプションの授業科目と取得可能な資格

\* 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験合格により資格付与。

	ホメオパシー 基本理論を学ぶ	現代医学・ ホメオパシー病理学を 学ぶ	ホメオパシーの 実践および 統合医療を学ぶ	取得可能な資格
必修	ホメオパシー基礎、原理 ホメオパシー哲学 マテリア・メディカⅠ ホメオパシー方法論	現代解剖生理 現代臨床病理学 現代救急医学 現代薬理学 ホメオパシー病理学	ケーススタディー ホメオパシー助産学 関連法規 インナーチャイルド学	JPHMA認定ホメオパス
オプション	ホメオパシーセルフケア マテリア・メディカⅡ		海外スクーリング JPHMAコンgres 動物のホメオパシー	JPHMA認定 アニマルホメオパス

## コース概要

	取得可能資格
認定機関	一般財団法人 日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)
認定試験 受験資格	○本コース修了により、以下の受験資格取得「JPHMA認定ホメオパス(同種療法士)」 ○オプション授業(有料)を受講修了し、「JPHMA認定アニマルホメオパス(動物同種療法士)」 ※ なお、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験に合格により資格付与。 認定試験料は別途必要。

	入学金・授業料・教材費
入学金	初年度のみ 15万円
授業料	授業料1年間一括の場合 39万円 2回分割の場合、前期21.5万円/後期19.5万円
テキスト	・テキストは 豊受モールにて各自購入(授業料にはテキスト代含まず) ・4年間で約10万円ほど。

	カリキュラム
入学時期	6月開講、その後随時入学可能(但し、1年次の視聴可能期限は翌年5月末日まで)
修学期間	4年間(最短で2年で修了可能。トータルの授業料金は同じ)
年間授業日数 授業時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最短2年コース</li> <li>1年目に1, 2年次の授業をそれぞれ6か月で視聴</li> <li>2年目に3, 4年次の授業をそれぞれ6か月で視聴</li> <li>●3年コース</li> <li>3, 4年次は必修授業に加えて、ケーススタディー100ケース以上視聴、ケース提出のための健康相談の実施等が必要となりますので、3, 4年次を6か月で対応するのは時間的に厳しいと思われるため、以下の受講を推奨します。</li> <li>1年目に1, 2年次の授業をそれぞれ6か月で視聴</li> <li>2年目に3年次の授業を1年間で視聴</li> <li>3年目に4年次の授業を1年間で視聴</li> </ul>
カリキュラム	<p>○必修(授業料に含む)</p> <p>ホメオパシー基礎、哲学、オルガン論、慢性病論講読、マテリア・メディカ I、ホメオパシー方法論、現代解剖生理、臨床病理学、現代救急医学、ホメオパシー病理学、インナーチャイルド、現代薬理学、ホメオパシー助産学、ケーステイク、関連法規等、その他</p> <p>○推奨</p> <p>JPHMAコンgres</p> <p>○オプション授業(別途授業料要)</p> <p>マテリア・メディカII、ホメオパシーセルフケア、海外講師講義、オプション授業を受講される場合、1日の基本料金は12,000円程度 ただし、オプション授業は種別により、受講料金が異なる場合あり。</p> <p>○オプションコース(別途受講料要)</p> <p>アニマルホメオパスコース授業</p> <p>なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。</p>

	その他
入学試験	筆記及び面談を実施。基本的には、東京校、京都拠点で実施。 スカイプ、Zoomも可能。
卒業の条件	以下の条件がそろった場合に、卒業可能。 ① 必修科目の全単位80%以上取得。 ② 在学中の進級・卒業試験、全てに合格。 ③ ケーススタディー100ケース相当以上視聴。
進級試験 卒業試験	自宅Web受験推奨。又は、東京校、京都拠点にて年間1回、5月に実施。
休学・復学	在学できる期間：休学期間を含め入学から卒業まで8年。休学、復学は年単位での休学、復学可能。休学期間中は、一般扱いとなり、学生の特典は利用不可。
eラーニング による 自宅学習	講義は学生専用サイトにログインして24時間視聴可能。 講義を視聴するには、最新のブラウザ、オペレーティングシステム、安定したインターネット回線が必要です。圏外や電波が弱い場所ではないか、パケット残容量はあるかを必ず事前にご確認ください。 OS：Windows、Mac ブラウザ：Google chrome 推奨 デバイス：パソコン推奨 プリンター：各種資料印刷の為に準備が必要  ● eラーニングの視聴の場合、ケース事例の映像は挿画や説明になる場合あり。 またケース映像、音声には、モザイクをかけたか、音声を変える場合あり。 ● eラーニングコース受講誓約書の提出必須。 ● 「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」同意書の提出必要。
海外講師授業	オプションの授業として、東京校、京都拠点にて受講可能。
ケーススタディー	ホメオパスの健康相談会100ケース以上視聴が必要(1年次より配信)。
強化学習	プロフェッショナルコースの在学学生・卒業生・ホメオパス対象講義。 由井先生から最新のZENメソッドを学び、ブラッシュアップします。
日本ホメオパシー 医学協会 JPHMAコンgres	JPHMAの年に一度の学術大会であり、全国各地で活躍する認定ホメオパスの改善事例のケース発表等実施。各種講演会講演、セミナーと合わせ推奨授業の一環として、参加お勧め。
JPHMA会員	1年次から専門会員への加入推奨。 JPHMA入会特典 ① JPHMAコンgresへの会員料金参加可能。 ② JPHMAのジャーナル配布 ③ 各種講演会参加等の参加料金割引
学生特典	豊受モールでのお買い物で、対象商品15%ポイント付与 ※TOMMY ROSE 3%、日本豊受自然農5% 講演会料金の割引 学生向け限定商品の購入 (テキスト、TBR、QX-SCIO) オリジナルレメディの作成、購入

## 講師紹介

CHhomでは、ZENホメオパシーを確立し、その第一人者の由井寅子名誉学長をはじめ、医原病、難治疾患の治療において最先端のZENホメオパシーを習得した実践経験の豊富なJPHMA認定ホメオパスを講師に学びます。

現代医学の救急救命や病理・生理、解剖、助産学、薬学、薬草学などの分野では国内の専門講師を招聘して学びます。

RAH時代を含め、100名以上の海外講師を招聘して学んできており、癌など様々な疾患へ有効なホメオパシー標準処方であるバナジープロトコルを確立したインド・コルコタのホメオパス・バナジー父子、インド政府ホメオパシーリサーチ中央評議会長官で、皮膚

疾患へのホメオパシーの治療についてのホメオパス向けのテキストをつくったRKマンチャンド博士をはじめ、ハーネマン研究では、カナダのルディー・バースパー氏、オランダのエワルト・ストットラー氏、オーストラリアのジョージ・デイミトリアディス氏や、現代医学のアロパシー医、鍼灸師、スピリチュアリストとしての側面を持つホメオパス、ユブラジ・シャルマ氏、ホメオパシー生化学者のトレバー・ガン氏、フランスの小児科医ホメオパスのジェルジェ・グランジョージ氏をはじめ、様々な分野で実践や成功例を持つホメオパスの方々を招聘してきました。

### 由井寅子 ゆいとらこ

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHhom 名誉学長  
ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー RAH 名誉学長

日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) 名誉会長  
一般財団法人 日本ホメオパシー財団 (JPHF) 理事長  
日本ホメオパシーセンター 総センター長  
農業生産法人 日本豊受自然農株式会社 代表取締役 社長・百姓  
FHMA 【英国ホメオパシー医学協会 (HMA) 名誉会員】  
Hon.Dr.Hom 【ホメオパシー名誉博士 (Pioneer University)】  
Ph.D.Hom 【ホメオパシー博士 (International Medical University)】  
D.C.Hom 【クリニカルホメオパス】

三十年に及ぶ臨床経験を持ち、難病・医原病に対するホメオパシーの研究と実践に全身全霊を注いでいます。現代に合わせた医原病アプローチの三次元メソッドを作り上げ、さらに、体の基盤となる食生活を正し、心の問題であるインナーチャイルドを癒し、魂を救うために、信仰心を高め、霊性学を取り入れ、「ZENホメオパシー」として確立しました。「ZENホメオパシー」は唯一無二のメソッドとして、世界的な評価を受けており、難治の症例を改善に導いているケースも数多く、非常に治癒率が高いです。数多くの臨床経験と研究、自らの体験を含め、あらゆるエッセンスが盛り込んだ講義、さらにライブでの臨床の講義は生きた学びとしてホメオパシーの知識、技術だけでなく、人として生きることの真髄が学べます。

#### ★由井名誉学長 担当科目

・ホメオパシー原理 (ケース含む) ・ホメオパシー病理 (ケース含む) ・ホメオパシーメソッド (ケース含む) ・ホメオパシー哲学と生き方 (インナーチャイルド含む) ・マテリア・メディカ・自然療法 (薬草ハーブ・自然農法)





マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）  
レパトリー（TBR）



菊田 雄介 きくた ゆうすけ

RAHフルタイムイブニングコース一期生  
JPHMA認定ホメオパスNo.406  
日本ホメオパシーセンター東京本部

ホメオパシーの基本知識、ケースを熟知。  
相手を受け入れ、穏やかな語り口の中に  
ユニークさが光ります。

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）



松尾 敬子 まつおけいこ

RAH五期生  
JPHMA認定ホメオパスNo.153  
日本ホメオパシーセンター埼玉日高

豊富な症例をもとに、自身の体験を含めて  
解説されます。熱意と情勢が伝わってくる  
授業は定評があります。

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）



新城 英一 しんじょう えいち

RAH九期生  
JPHMA認定ホメオパスNo.452  
日本ホメオパシーセンター読谷トリエ

ホメオパシーの基本知識、病理を熟知。  
大胆で力強い話し方と分かりやすい説明に  
定評があります。

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）



高宮 義和 たかみや よしかず

Chom2期生  
JPHMA認定ホメオパスNo.0943  
日本ホメオパシーセンター東京本部

自身の癌サバイバーの体験と、ホメオパスの  
経験と共にレメディーを実践的に使う知恵を、  
分かりやすくユーモアにあふれた講義には  
定評があります。

フラワーエッセンス



東 昭史 あずまあきひと  
CHom ハーブ・フラワー・フラワー  
エッセンス講師 エッセンス研究者  
フラワーエッセンスだけでなく、野の  
花や薬草にも精通。著書「ファー・イー  
スト・フラワーエッセンスガイドブッ  
ク」(由井 寅子 監修/東 昭史、浅野  
典子 共著/ホメオパシー出版刊)

薬草学



小谷 宗司 こたにそうじ  
薬剤師 長野県薬草指導員 NPO  
法人自然科学研究所理事長  
現在、御嶽山の植物を研究。日本  
の薬草学を中心に、薬用植物の解  
説を行います。

薬理学



山内 知子 やまうちさとこ  
RAH 四期生  
JPHMA 認定ホメオパス No. 109  
薬剤師の視点から見たレメディーの  
見解は、独自性があります。

解剖・生理・病理



酒向 猛 さこうたけし  
医学博士/外科医師  
外科治療だけでなく、統合医療部  
の担当医師として、ホメオパシー  
をはじめとした統合医療も取り入  
れています。病理生理の講義担当。  
千島学説の実践家であります。



増田 敬子 ますだたかこ  
RAH 八期生  
JPHMA 認定ホメオパス No. 357  
日本ホメオパシーセンター 東京本部  
大学の非常勤講師。大学の講師と  
して運動生理学、実技全般を担当。  
解剖生理の講義を担当します。

救急医学



高野 弘之 たかのひろゆき  
豊受クリニック 医師  
地域医療の第一線を長年担ってき  
た経験を生かし、豊受クリニック  
を開設。ホリスティックな医療を  
実践し、知識を伝えます。

関連法規



秋山 佳胤 あきやまよしたね  
RAH 九期生  
JPHMA 認定ホメオパス  
No. 411  
日本ホメオパシーセンター  
東京千鳥ヶ淵  
弁護士 東京弁護士会所属  
論理明快な思考、語り口は定評が  
あります。

ケンティアンから本物のハーネマニアンに戻るために  
これまでに招聘した海外講師から

### ジョージ・デイミトリアデイス

オーストラリアのハーネマン・インスティテュート・シドニーの創立者であり校長です。約三十年間ホメオパシーの研究を続け、二十二年間以上オーストラリアや海外で教えています。ボーンングハウゼンのレパトリー（TBR）の編集を手がけ、オーストラリアやニュージーランドで、教えています。ボーンングハウゼンのレパトリーメソッドの第一人者であり、ハーネマンのオルガノン、慢性病についての研究者としても名高く、ホメオパシー専門誌への寄稿も多数あります。



### トレバー・ガン

生化学者、英国のホメオパスであり、RAH英国本校の副学長を務めます。『予防接種は果たして有効か』の著者です。ガン氏の病理・生理に関するアプローチは、体の生体システム、病気のプロセスについての誤った常識を覆し、真の理解を与えてくれます。



### ルディー・バースパー

オランダ出身、カナダ在住のホメオパス。ハーネマンの医療体系を二十年以上にわたって研究し、複雑な慢性のケースに関する豊富な臨床経験を身につけました。歴史と哲学に関する長年の研究により、伝統的なホメオパシー治療に生じていたさまざまな問題・課題を検証し、体系的でダイナミックな治療法を生み出しました。『ダイナミック・レガシー』他、多くの著作があり、欧米で多数の講演を行っており、教育にも力を注いでいます。



### ユブラジ・シャルマ

医師として、ロイヤル・ロンドン・ホメオパスティック・ホスピタルで勤務経験あり。その後、個人医として開業し、現在に至ります。現代医学のアロパシー医、鍼灸師、スピリチュアリストとしての側面を持つホメオパス。東洋医学・ホメオパシー医学・現代医学・神智学・霊的な病理・生理学を一体とする講義は明瞭、簡潔です。

### エワルト・ストットラー

最先端を走る、ハーネマン研究者であり、深い洞察を行い、体系的なアプローチを開発し実践しています。花びらメソッドによるマヤズム理解、介入レメディー、LMポーションなどの解説は、オルガノン、慢性病論を真に理解する上で重要となります。三十五年間ホメオパシーを実践し、療法家として癌、慢性病を含め八割以上の治癒（根治）率を誇る欧州でも傑出したホメオパスです。



## 各校案内

東京用賀と京都にそれぞれ教室があり、中継をつないで各種ライブ講座を行っています。各施設には、ホメオパシーの健康相談、豊受自然農の各種食品、各種ホメオパシー関連書籍も販売。また、飲食も楽しめるので、一日中、ホメオパシーと自然生活を満喫できる施設となっております。eラーニングの学生の皆さんも授業とはまた別の魅力的なライブ講座へぜひ足を運ぶください。そして、充実のホメオパシーライフをお楽しみください。



CHhom 大阪校は、閉校いたしました。京都市内に移転を予定しております。所在地の詳細は、しばらくお待ちください。



## CHhom 東京校

学校、センター、レストラン、ショップ、クリニックが設備された健康複合施設。

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台 2-2-3 矢藤第3ビル  
TEL : 03-5797-3250 / FAX : 03-5797-3251  
Email : CHhom@homoeopathy.ac

- 東急田園都市線 用賀駅 南口より徒歩 10 分
- 東急バス 渋 12 渋谷駅→二子玉川駅方面瀬田バス停より徒歩 5 分



## 豊受オーガニクスショップ & レストラン

豊受自然農の「三志」

人の体をつくる食は

- 一、安心安全であること
- 一、栄養が豊富なこと
- 一、皆に供給すべきこと

静岡県函南と北海道洞爺で完全無農薬、無化学肥料、種からこだわる自然農野菜を中心に、畑の素材を生かした調味料を使い、「志」と「おもてなし」を大切に食を提供しております。また、ショップでは、新鮮豊受野菜や、豊受野菜の加工食品、豊受ハーブや野菜から生まれた化粧品、レストラン特製お弁当も販売しております。



◎豊受オーガニクスレストラン  
 昼の部：11時半～15時半（ラストオーダー - 15時）  
 夜の部：17時～21時（ラストオーダー - 20時）  
 ◎豊受オーガニクスショップ：10時～20時  
 営業：火～土曜日 / 定休日：日・月曜日  
 電話：03-5797-3252

## 日本ホメオパシーセンター 東京総本部

由井真子日本ホメオパシーセンター総センター長はじめ、RAH (Chhom)の前身ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー、Chhomの卒業後さまさまなクライアントを治療に導いてきた精鋭ホメオパスによるホメオパシー健康相談会が行われております。ホメオパシーの学業とともに、健康相談会をお受けになり、ご自身やご家族のインナーチャイルドの解放にお役立てください。

※ホメオパシー健康相談会は、一般の方がお受けいただけます。相談料がかかります。



◎日本ホメオパシーセンター東京総本部  
 電話：03-5797-3136（完全予約制）  
 営業：火～土曜日 受付時間：9時30分～17時  
 定休日：日・月曜日

## 医療法人豊受会 豊受クリニック

体の問題が気になる方はChhom 東京校建物に隣接する日本ホメオパシー医学協会の提携クリニックである豊受クリニックで受診することも可能です。ここではChhomプロフェッショナルホメオパス養成コースを卒業された自然派医師の高野弘之院長がZENホメオパシーを理解され、現代医療の診療や検査なども行っています。



◎豊受クリニック  
 電話：03-5797-2702（完全予約制）  
 営業：火～金曜日  
 休診日：月・土・日曜日

# CHhom学生・卒業生の特典

## ●豊受モールの会員特典の適用

CHhom4年制の学生は、在学中、豊受オーガニクス ショッピングモール（以下、豊受モール）のプレミアム会員特典が適用されます。豊受化粧品、食品、など商品の購入の際に、ポイントが付与されます。特典の詳細は、豊受モール会員規約をご確認ください。

## ●講演会料金の割引

CHhom主催の講演会に学生特別価格で参加できます。

## ●学生向け限定商品の購入

### テキスト

ハーネマンのドイツ語の原典から直接日本語に翻訳した「マテリア・メディカ・プーラ」、慢性病のマテリア・メディカ、ホメオパス必携の本格的なボー

ニングハウゼンのレパートリーである「TBR」日本語版、さらにTBRから作成された「TBRマテリア・メディカ」の購入ができます。



TBR PCソフト

### TBRレパートリーマシ

ホメオパス必携の本格的なボーニングハウゼンのレパートリーであるTBR日本語版を、パソコンソフトウェアの形で購入することができます。他に、ホメオパス向けの本格的な日本語版ロータス・マテリア・メディカ、日本語版ロータスレパートリーをパソコンソフトウェアの形で、購入することができます。

※TBR書籍およびソフトはCHhomの教科書として使用しており、一般販売はしておりません。

### QX-SCIO

ホメオパシー測定修正機器を特別価格にて購入することができます。

※TBRやQX-SCIO購入の豊受モールポイントは付与されません。

## ●その他の特典

学生になるとJPHMAへの入会資格（専門会員）が得られます。JPHMAに入会すると年一回開催されるプロフェッショナルホメオパス学術大会であるJPHMAコングレスへの特別価格での参加ができ、JPHMAの会報誌・ホメオパシクジャーナルが配布されます。また、JPHMA主催の講演会に会員価格で参加できます。

※CHhomでは、一年次からJPHMA専門会員に加入することを推奨しています。

## Q & A

Q・・・日本にはホメオパシーの学校がいくつかありますが、どの学校を選択してもプロのホメオパスになれますか

A・・・海外では正式にホメオパシーの学校を運営するためには日数ならびに時間数が定められています。日本においては、残念ながらパートタイム科で三年間のところ、通信教育が中心で修了できるところ、極端な場合、一年間のコースもあります。セ

入学前の皆様からのご質問にCHhom事務局よりお答えします。

ルフケアならそれでも良いでしょう。しかし、プロフェッショナルホメオパスになるためには、パートタイム科で四年間かけてハーネマンの基礎から実践まで、しっかりと学ぶことが必要です。年数だけではなく、プロになるためには十分な時間数も必要です。CHhomでは、国際標準以上に教える内容、時間を充実させ、真のプロフェッショナルホメオパスを育成しています。

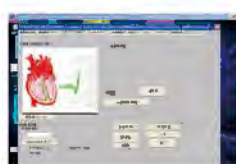
デンタル



血液トリートメント



周波数調整



過去性プログラム



QX-SCIO



**Q**…ホメオパスの賠償責任保険とはどのようなものですか

**A**…ホメオパスがその国で職業として確立しているかどうかの判断基準は、ホメオパスの職業保険が成立しているかどうかにあります。もちろん、ホメオパス認定試験が国家試験となり、ホメオパスという職業が国家資格となつて完成するのですが、そのためには、その下地がなければなりません。それがホメオパスの職業保険です。この職業保険は、一定の実力を持つているホメオパスに与えられるべきものです。国家資格をとらなければ職業として確立しないかというところということではありません。国家資格となる前に、まずその国において職業認定機関（職業団体）が確立し、やがて職業として確立するのが通常です。職業として確立したかどうかは、職業団体において職業保険が成立しているかどうかで判断することができるといふことです。そもそも、職業として確立するためには何かを考慮してみましよう。まず第一にその仕事に専門性がなければなりません。

ん。これは同時に然るべき専門教育を行う教育機関が必要であることを意味します。第二にその仕事が国民の利益に供するものでなくてはなりません。療法関係であれば、国民の健康と福祉を増大させるものでなければなりません。第三にその専門性に関して第三機関がその知識と技能が客観的に試験されるシステムがなければなりません。すなわち、プロフェッショナルかどうかを試験し認定する信頼できる第三機関と、試験に合格した者だけがプロフェッショナルとしてその業を用いて職業とすることのできる制度が必要なのです。以上は、職業として確立するための全世界共通の職業理念です。

ホメオパスの職業保険は二〇〇五年十月に成立しました。八年間に及ぶ継続的なJPHMAの活動実績がやっとな認められたのです。海外では職業保険が確立しているかどうかでその職業をやっているかどうかを判断します。約十年の歳月をかけてやっとヨーロッパのホメオパシー先進国に肩を並べることができました。

ホメオパスは、プロフェッショナルホメオパスを認定する職業団体（プロ認定機関）に認定されることで、はじめてプロとしての活動ができます。ただし、この職業団体は職業保険をもっていなければなりません。なぜなら、職業保険をもつということは、その職業団体が社会的にも能力的にも認められていることを意味すると同時に、万一、その職業を行うなかで問題が生じてしまった場合でも、責任をもつて対応する体制が整っているということの意味するからです。

現に、ICH（ホメオパシー国際評議会）においても「ホメオパシーを職業として行う者は、ホメオパスの職業保険のある協会（ホメオパス職業団体）の認定を受け属するべきである。それが、プロフェッショナルホメオパスの定義であり義務である」としています。

**Q**…学生は保険に入らなくて良いですか

**A**…いいえ。学生に関しては、学生向けのホメオパス育成の

保険があります。Chhomの四年制通学コースでは四年次に、JPHMAの認定試験を受けるために、ケーステイクといつて、自分でクライアントを選択し、五つの改善ケースを提出するという課題が設けられています。そのため、各自が、JPHMAのホメオパス育成の保険に加入（JPHMA 専門会員に加入すると、JPHMAのホメオパス育成の保険に自動加入となります）していただくことが、ケーステイクを行う上での前提であり、必須条件となります。なお、Chhomでは、一年次からJPHMA 専門会員に加入することを推奨しています。

**Q**…Chhomのカリキュラムでは解剖・生理・病理については、どのように組まれているのでしょうか

**A**…現代医学の基礎を身につけることは、とても大切なことであると考えています。入学前に学ばれている方もいますし、全く学んでこなかった方もいますのでChhomでは、現代医学の解剖生理、臨床病理、救急医学をしっかり教えます。解剖・生理・病理については、酒向医学博士、増田講師が、救急医学については高野医師が担当します。現代医学の解剖生理を理解することは、国の枠組みの中で責任を持った行動をとるためには必要不可欠となりますので、必須授業としています。

また、現代医学の解剖生理だけでなく、ホメオパシー的観点から見た解剖生理を増田講師が教え、ホメオパシー的な病理生理は由井先生が教えます。ホメオパシー統合医療のカリキュラムは、Chhomでしか学ぶことができない授業です。それは、海外の学校でも行われていないChhomオリジナルともいえます。ホメオパシー療法を行う上で、本当に生きた解剖・生理・病理の基礎を理解するために、画期的なカリキュラムと言えます。

**Q**…「ホメオパシー療法は、現代医学を否定し、患者を病院から遠ざける」と言われていますが

A・・・このような指摘は一連の新聞報道によるもので、正確な情報が伝えられずに多くの人々に誤解を与えています。

事実はJPHMAでは現代医療を否定しておらず、現代医療と協力してやっていくという立場をとっており、協会会員に周知徹底しています。現に、JPHMA認定（プロフェッショナル）ホメオパス倫理規程で下記のように定めています。

プロフェッショナルホメオパス倫理規程第三条三項より「本協会認定ホメオパスは、クライアントが病院での検査、診察等（以下、検診という）を受けることに否定的であってはならない。病院での検診が必要と判断される場合は、速やかにその旨をクライアントに伝えなければならない。なお、検診を受けるか否かの最終判断は、あくまでもクライアントが行うものであり、本協会認定ホメオパスが強制することはあってはならない。ただし、慢性疾患のクライアントに対しては、病院での定期的な検診をお勧めしております。

Q・・・ホメオパシーと薬事法との関係を教えてください

A・・・薬事法は薬局や医療品、医療用具等の基準・検定・取り扱いはについての決まりことです。ホメオパシー療法において用いられるレメディーは砂糖玉やお酒（スピリッツ）であり、薬ではありませんから基本的に薬事法の適用外となります。これは、成分を調べても原物質が検出されないことから明白です。また、商品と関係しない形で、すなわち純粋な学問としてのホメオパシー療法やレメディーの効果効能を伝えることも問題ありません。

しかし、薬事法広告規制の関係で、薬ではない商品（販売用あるいは贈呈用）としてのレメディーの効果効能をうたったり暗示することはできません。このためホメオパスがクライアントに直接レメディーを販売あるいは贈呈することはできません。ホメオパスができることはレメディーの適用書をクライアントにお渡しするところまでで、その後はクライアントが自ら選択したレメディー販売店か

ら直接レメディーを購入していただく形になります。

Q・・・ホメオパシー療法は医師しかできないと聞きましたが本当ですか

A・・・いいえ、違います。医師法により、ホメオパシー療法は医師しかできないと言う人がいますが、それは正しくありません。医師法とは現代医学による医療を行うことができるのは医師だけであるという法律です。現代医療という学問を専門に学びその知識と技能を身につけた医師だけがそれを生業とすることができるのは当たり前です。そして現代医療が国家資格である以上、資格を持たない者がこれを生業とすることができないのは法律的に当たり前なのです（国が医師という職業を保証している以上当たり前なのです）。

しかし現代医療は数ある療法の中の1つに過ぎません。そしてたくさんある療法はそれぞれ現代医療は大切な療法であり、なくてはならないものです。そしてその業を修めた医師ももち

ろん必要であり、なくてはならない職業です。しかし、現代医療以外の療法も医師が行わなければならないというものは、正しくありません。医師法にはそのようなことは書かれていませんし、倫理的にも受け入れがたい考えです。確かに医師法の中には、医師は鍼灸治療を行うことができる」と書かれています。しかし本来鍼灸治療は鍼灸の学問を修め、その知識と技能が試験され合格した者だけに鍼灸治療を行う資格が与えられるべきであり、医師というだけで、鍼灸治療を行う資格があるという考えは憲法上問題があり、違憲の法律である可能性があります。漢方も同様のことが言えるでしょう。

ホメオパシーと現代医学とは根底となる原理が全く異なる医学です。そのため、ホメオパシーを専門的に十分に学んだ者（専門家）が、ホメオパシー療法を行うことが必要条件だと考えています。逆に、現代医学の医師だからといって、ホメオパシーを十分に学ばずに、ホメオパシー療法を安易に行えるわけはありません。JPHMAで

は、ホメオパシーに関しては、現代医学とは別のホメオパシー領域の専門家が重要と考えています。そして、ホメオパシーの専門知識、経験、技術が一定レベルに達した者に対して、専門資格を与えることが必要と考えています。現在、JPHMAでは、欧米の基準をふまえ、水準以上の認定レベルに達した者に対して、プロフェッショナルホメオパスの認定資格を与え、ホメオパシー職業保険を適用しています。

Q・・・ホメオパスとしてホメオパシー療法を行うことは、医師法に抵触するのではないかと懸念する人もいますかと思いましたが

A・・・以前にも同じ質問がありました。

①ホメオパシーは医療である  
②医療は医師が行うものである  
③それゆえホメオパシーは医師しか行ってはいけない  
という一見したところ矛盾のない三段論法を用いて、医師だけがホメオパシーを行ってほしくないという結論を導き、あたかも日本において、医師法と言



う法律に対して、不法行為がなされているかのような印象もかたれています。これは正しくありません。ホメオパシーは「医療行為」ではありません。医療行為とは、聴診器をあてる、薬を処方する、病名を診断するなど、現代医学に基づく治療行為をすることです。そして、その「医療行為」に関しては、「医師法」で定められる医師という職業に就く者だけが行うことができるということ。すなわち医師とは、現代医学という学問を修得した現代医療のプロフェッショナルです。

また、人々の健康と福祉に寄与するが故に、「現代医療」という治療法以外の療法を、そのプロフェッショナルと認められる者が行うことは、日本国憲法の「職業選択の自由」において保証されており、事実、社会的に認められています。このことは、もし医師法という医療があらゆる治療法を指すとなれば憲法に抵触する無効な法律となり矛盾することからも明白です。

ホメオパシーは医学ですが、これは「ホメオパシー医学」であり、「アロパシー医学（現代

医学）」とは異なる学問体系です。ホメオパシー療法を職業とすることが出来る者は、ホメオパシー医学を修得した者で、すなわちプロフェッショナルホメオパスであり、医師ではありません。

プロフェッショナルホメオパスは、JPHMAの倫理規程に基づき、バイタルフォースの滞りに対してホメオパシー療法を行っています。クライアントから病院での検査・治療の必要性を確認されたとき、それ以前に検査の必要を感じたときは、まず検査をするよう指示します。また、これは医師の仕事であるから病院に行くようクライアントに伝えます。もちろん、検査は医師の仕事だからです。現代医学は、現代医学のプロフェッショナルである医師が行うように、現代医学以外の療法はもちろんそれぞれの療法の専門家（プロフェッショナル）が行うべきと考えます。

## SNS：公式アカウント一覧

Chhom のソーシャルメディアアカウントでは、ホメオパシーに関することやイベントのご案内とらこ先生のレポートなどを発信しています。

X (旧 Twitter)	公式 X (旧 Twitter)アカウント：@chhom_ac	
YouTube	公式 YouTube チャンネル	
Facebook	公式 Facebook	
Instagram	公式 Instagram	
LINE	公式 LINE	

プロフェッショナルホメオパスコース1年次 カリキュラム

必修	講師 (敬称略)	講義 内容
1	由井名誉学長	ホメオパシー基礎①
2	菊田	ホメオパシー基礎②
3	由井名誉学長	ホメオパシー基礎③
4	由井名誉学長	ホメオパシー基礎④
5	澤元	ホメオパシー基礎⑤
6	由井名誉学長	ホメオパシー哲学①
7	由井名誉学長	ホメオパシー哲学②
8	由井名誉学長	オルガノン講読①
9	由井名誉学長	オルガノン講読②
10	由井名誉学長	オルガノン講読③
11	新城	ホメオパシー方法論①
12	由井名誉学長	ホメオパシー病理学①
13	由井名誉学長	ホメオパシー病理学②
14	由井名誉学長	ホメオパシー病理学③
15	由井名誉学長	インナーチャイルド癒し演習①
16	高宮	マテリア・メディカ①-1
17	新城	マテリア・メディカ①-2
18	松尾	マテリア・メディカ①-3
19	菊田	マテリア・メディカ①-4
20	新城	マテリア・メディカ①-5
21	新城	マテリア・メディカ①-6
22	酒向	現代臨床病理①
23	酒向	現代臨床病理②
24	酒向	現代臨床病理③
25	酒向	現代臨床病理④
26	増田	現代解剖生理①
27	増田	現代解剖生理②
28	増田	現代解剖生理③
29	増田	現代解剖生理④
30	増田	現代解剖生理⑤

各種授業1年間視聴可能(2025年5月末迄)

※授業配信日程・内容・形態、eラーニング配信順番等は変更になる場合があります。 ※1回の講義はAM・PM各3時間

Zoom 交流会を3ヶ月毎に開催しています。日頃eラーニングで学んでいて、ホメオパシーに関して聞きたいと思っていることや学び方のポイントなど、講師や他の学生との情報共有を図る機会を設けています。

必修	日程	受験場所	内容
31	2025年5月	自宅Web受験、又は東京校	進級試験

# CHhom プロフェッショナルホメオパスコース ご入学までの流れ

## 【入学書類のご提出】

- ・同封の下記4種類をご提出下さい。
- ①入学願書（カラー写真 入学願書貼付1枚）
- ②「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」への同意書
- ③「eラーニングコース受講誓約書」
- ④入学試験申込書

## 【入学試験日の決定】

- ・ご提出頂いた書類を確認後、事務局より受験日のご連絡を致します。  
受験日決定後、受験票を郵送または、E-mailでご連絡を致します。
- ・入学試験には5,000円の受験料がかかりますので、予めご用意のほどお願い致します。

## 【入学試験内容】

- ・入学試験（所要時間2時間）。筆記90分（一般教養＋論文）＋面談30分。  
最寄りのCHhom 東京校もしくはスカイプ、Zoomにて受験して頂きます。  
（京都市内の拠点でも受験は可能です。）

## 【合否連絡】

- ・受験後1週間後迄に入学試験合否のご連絡を致します。  
合格の場合は【授業料請求書】・【概要書面】をお送り致しますので、本書面の内容をご確認のうえ、期日までにご入金をお願い致します。

## 【入学に関する書類の送付】

- ・入学金、授業料のご入金が確認できましたら、【契約書面】【ご入学手続き完了のお知らせ】をお送りいたします。  
※以降は豊受モールのプレミアム会員となり、購入額に応じてポイントが付与されます。  
また、講演会・セミナー、書籍購入が学生割引料金となります。  
※初回スクーリング2週間程前に【初回スクーリング案内】を郵送、もしくはメール送付致します。

## eラーニングコース 授業スタート

プロフェッショナルホメオパスへの道が始まります！

# CHhom 一年次のイベント

CHhomでは、一年を通じて  
さまざまなイベントが行われます。  
イベントの一部をご紹介します。

## 春

JPHMA世界ホメオパシー認識週間 日本イベント

6月、CHhom開講。記念すべき四年間の  
ホメオパシーの学びが始まります。

GW特別イベント

心DAY・ホメオパシーDAY・豊受DAY

静岡県函南・豊受自然農場にて

春の花摘みツアー

農業シンポジウム

納涼講演

※スケジュールは変更となる場合があります。  
あります。また、授業は選択制  
(オプション)のものもあります。

## 夏

静岡県函南自然農場 春の花摘みツアー、秋の収穫祭



# 冬 秋

## JPHMA コングレス開催

日本ホメオパシー財団、日本ホメオ  
パシー医学協会（JPHMA）主催

## 秋のお彼岸 特別講演

静岡県函南・豊受自然農園にて

## 秋の収穫祭

## 豊受新嘗祭 特別講演

## 年末講演

## 新春豊受トーク

## Chom 進級試験

進級試験ではレベルに達しない  
方は再試験を行い、個々の学生  
が一定以上のレベルで進級する  
ようにしていきます。

2019年12月20日・21日開催  
日本ホメオパシー医学協会主催  
第20回 JPHMA コングレス  
ホメオパシー学術大会  
※写真は、第19回大会の様子



## CHom・由井寅子名誉学長は 世界のホメオパシー界から学会に招聘される トップクラスの療法家

由井先生は、日本のホメオパシーの土台を築き上げたのみならず、ホメオパシー療法に、インナーチャイルド癒し、霊性、信仰心、食養生を含め、ホリスティック(統合的)に人を見て、魂・心・体を三位一体で癒す事を可能にするZENホメオパシーを確立し、まさにホメオパシーの祖ハーネマンが提唱するハイルクンストを実践し、多くの難病を治癒に導いています。その実績は、世界中のホメオパス達に高く評価されており、由井先生は、日本代表として、多くの国際的なホメオパシー学術大会や重要なイベントに招聘され、発表しています。

近年の由井学長の国際的活動及び

CHom海外スクーリング

【英国】

ロンドンで開催された二名のノーベル賞受賞科学者はじめ世界のホメオ



パシー研究者が一堂に会した国際セミナー「New Horizons in Water - Evidence for Homeopathy?」(水科学の新しい展望・ホメオパシーの証拠?)に日本代表VIPとして参加。(二〇一八年七月)

【イタリア】

ローマで開催された第8回伝統医学と鍼灸の国際カンファレンスにて基調講演(二〇一八年七月)

【ドイツ】

SPRIT NATURE HEALING (靈魂、自然、癒し) シンポジウム (Verein für medialität und heilkunst 主催) にて、メインスピーカーとして発表。(二〇一七年十月)



【ルーマニア】

The Romanian Association of Gemmotherapy and Homeopathy (ARGH: ルーマニア・ジェモセラピーとホメオパシー協会) 主催のカンファレンスにて、メインスピーカーとして発表。(二〇一七年十月)

【オランダ】

Homeoprophylaxis: A Worldwide Choice for Disease Prevention (HPWWC: ホメオパシー的予防・疾患予防への世界の選択) 主催、初のヨーロッパカンファレンスで発表。(二〇一七年十月)



【英国】

The Homeopathic Medical Association Annual Congress (英国ホメオパシー医学協会年次カンファレンス) メインスピーカーとして発表。(二〇一七年十月)

【インド】

World Integrated Medicine Forum on Regulation of Homeopathic Medicine (ホメオパシー医学・医薬の標準化規制における世界統合医学フォーラム) に日本を代表して参加。(二〇一七年二月)

【インド】

コッタヤム国立ホメオパシー中央研究所にて行われたインド政府 AYUSH 省文献『ホメオパシー科学・穏やかな治療法』(ホメオパシーリサーチエビデンス集) 日本語版出版記念式典参列。(二〇一六年十二月)

【インド】

インド政府 AYUSH 省 Central Council for Research in Homoeopathy (CCRH: ホメオパシーリサーチ中央評議会) と JPHMA のジョイントイベント「Seminar on Mental Health (心の健康セミナー)」にて発表。(二〇一六年十二月)

インド最大のホメオパス団体インドホメオパシー医学協会 (HMAD) の第二十回記念の年次学術大会に招聘され「ZEN ホメオパシー」の発表を行う。(二〇一六年十二月)



【英国】

ロンドン大学、スクール・オブ・ファーマシーにて「ZEN ホメオパシー」の最新情報の講演。参加者はイギリス人や日本人に留まらず、ルーマニア、スイス、デンマーク、ドイツ、ナイジェリア、アメリカなど各国の方々が集まる。(二〇一六年七月)

【インド】

日印ワールド・ホメオパシー・カンファレンスをニューデリーにて二日間開催。インド政府 AYUSH 省ジョイント長官、ジテンドラ・シャルマ氏が開幕式に駆けつけ、インド政府官僚の皆様にもご参列頂き、盛大な開幕式でスタート。WHO 東南アジア技官、伝統医学の Dr. キム・サン・チョルも特別ゲストとして参加。(二〇一五年二月、三月)

【ブータン】

ブータン王国第五代ワンチュク国王と一時間四十分にあたる謁見を賜る。タシチョ・ゾンにて国王と直接お会いする機会を賜り、ホメオパシーや自然農をはじめ、ブータンと日本の文化や国民性など、幅広い分野に渡るトピックに対し、国王よりお言葉をいただくことができた。「私はホメオパシーをサポートします」というお言葉もいただき。さらに、日本からの参加者全員の前に姿を現わして、記念写真もご提供いただいた。太皇太后(第五代ワンチュク国王の祖母)との拝謁を賜る。ここでも、ホメオパシーははじめブータンで保護されている自然についてのお話など様々な



分野でのお言葉を頂いた。日本からの参加者全員が宮殿に招かれ、一人ずつ、直接ご挨拶させて頂く光栄を賜る。(二〇一五年三月)

Chhom 在校生・卒業生は、由井先生に同行し、国際的なカンファレンスに参加する機会に恵まれており、世界各国のホメオパスや代替医療の療法家達の活動や症例を直に学ぶ事ができます!

# 卒業後の進路・就職状況

2021年4月末現在、CHhomの前身であるRAHと、CHhomを卒業した約600名のホメオパスたちが、日本各地で活動しています。

卒業生の方の多くが、ご自身でセンター（日本ホメオパシーセンター）は、全国で約三百カ所）を開き、ホメオパスとして、ホメオパシー健康相談やホメオパシーセミナーを開催しています。個人センターの他に、日本各地のホメオパシーセンター本部でホメオパスとして活躍している方もいます。現在、東京用賀のセンターには十名のホメオパスがおります。日本でも、既に累計二百万人の方がホメオパシーを使用しています。また、ホメオパシー商品の販売店や取扱所

をしている方、CHhomやRAHの講師として活躍している方など、ご自身のライフスタイルに合わせて、RAHやCHhomで学んだことを活かしています。また、CHhomでは自然療法を実践するCHhom卒業生の高野医師による豊受クリニックが隣接し、現代医学とホメオパシー統合医療の協体制ができています。

**JPHMA 認定後の卒業生の進路状況**

卒業後、九〇%の方が何らかの形でホメオパシーを活かされ、実践されているという卒業後にCHhomでの教育を活かして活躍されている方が多いのが本校の特徴です。



CHhom卒業式より

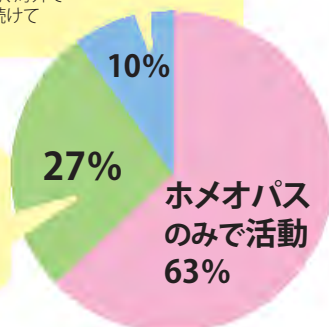
## JPHMA 認定後の卒業生の進路状況

現在は自分と家族のケアをしている。あるいは、ホメオパシーを仕事に使用していない

※公務員などで将来活用予定の方、家庭で活用されている方、海外でホメオパシーの勉強を続けている方を含む

他の療法と合わせて

提携クリニック  
助産師、動物病院  
鍼灸院、その他





## 在校生・卒業生の声

入学のきっかけは人それぞれ、でも、目指すのはプロフェッショナルホメオパス！  
在校生も卒業生もみんながんばっています。  
そんな先輩たちの声をお聞きください。

### 自分らしく

#### 命輝くために

CHhom 4期 H・Tさん

自分自身が自分らしく生きていきたいという思いがすごく強く、でも自分自身を生きられない葛藤、理想と現実のギャップにすごく苦しみ、根無し草のようにいつも自分の居場所を



探していました。ホメオパシーに出会って由井先生の講演会に何度も何度も足を運んでお話を聞いていくうちに、ホメオパシーはもちろんのこと、それだけではない自分の在り方とか、生き方、自分との向き合い方などを教えていただきました。

どうしたらもっと楽に生きられるのか？自分らしさとは何だろうか？深い部分で抱えている苦悩、その解決方法を学びたいと思っていたのです。自分自身を俯瞰で見て、自分で癒して、自分らしく輝いていける。

そのツールがホメオパシーであると感じていました。由井先生が学長を努めるCHhomにその生き方のヒントがあるのではないかと思います、これまでの色々な出来事を経て、絶対学校に入ると決めて、そしてCHhomのプロフェッショナル四年制コースに入学しました。

私の人生で一番大きな成長と変化があった四年間だったと思います。由井先生の臨床を通してケースを学ぶこと、自分を知ること、行動すること、やることは本当にたくさんあって、苦しかったんですけど、自分との向き合い方や、自分のどこを癒したら楽に生きられるようになるのか、学びを重ねるにつれて段々と分かってきました。

由井先生がいたからこんなに自分の人生を真剣に生きようと思えるようになりました。振り返ると二十代半ばは本当に苦しかった。

た。表面的には幸せでしたが、心の中では自分らしく生きられない葛藤があったので、すごく苦しかったんです。得体のしれない苦しみ。でも今ならなぜそんなに苦しかったのかがよく分かります。

CHhomで四年間勉強してきて、これまでの苦しみはより良い自分を生きるために必要なものだったんだと気づいた瞬間、過去の全ての出来事に感謝しか残らなかつたです。自分の人生をどう生きていけばいいのか、より自分が楽になる為にと、自分らしく命輝く為にならざるを得ないのか、自分との信頼をつなげることができるようになりました。心から由井学長には感謝しております。楽に生きる、等身大の自分で生きるとはこういうことなんだと知りました。本当に本当に楽しく、情熱的に四年間を生きたいと思えたので、すごく充実しています。

きつと誰もが苦しみや、葛藤を抱えて生きていると思います。体の調子が悪かったり、心の調子が悪かったり、家族が病気だったり、すぐイライラしたりとか、人生が思うようにうまくいかないとか…そういうこともそれぞれにあると思います。CHhomは、ホメオパシーを学ぶことはもちろんのこと、それだけではなく、「自分らしく人生を楽に生きられる術」、「自分らしくある為の生き方」を学べる唯一無二の学校だと思います。これから四年間の学びは、あなた自身にとっても、これらの日本にとっても、尊い時間となることでしょう。

CHhomでしか学べないホリスティックな命の学びを通して、未来のホメオパスとして自分を養い、自分を生きて、卒業後はホメオパスとしてよりよい世界と一緒に未来へ繋いでいけたら嬉しいです。



大いなるものに委ねる、すべては繋がっているという感覚

Chhom 3期 Y・Aさん

私がホメオパシーに出合ったきっかけは「うつと不眠」でした。精神科の薬を飲んでいた私に、叔母が「ホメオパシー療法」を勧めてくれました。最初はクライアントとして半信半疑でホメオパスの相談会を受けましたが、ホメオパシーによって体も心も魂も助けてもらったので、この素晴らしくて不思議なホメオパシーをもっと知りたいと思って入学に至りました。

振り返ると、以前の私は自己否定と罪悪感がすごく

強かったです。悲しみと絶望に覆われていました。自分を大切にするとということが分からず、ただただ頑張っていました。今は自分を大切にすることや、心と体が繋がっていることが分かります。自分の体を信頼することの大切さ、大いなるものにゆだねる感覚、すべては繋がっているという感覚も分かってきました。生きるのが楽になりました。今では、うつという病気をもらったことも、苦しかった出来事も必然だったと感じ、すべてに感謝しています。

私の周りでは、夫、母、義母、愛犬、愛犬の訓練士さん、友人がホメオパシーを使うようになりました。レメディを使うことにより、心身のバランスを取り戻す様子に感激しています。学ぶにつれて、ホメオパシーの奥深さを感じています。フラワーエッセンスも大好きになりました。

学校はとっても楽しくて、楽しい楽しいと過ごしているうちに本当にあっという間に過ぎていききました。由井先生は講義の度に、その時々のあるままの姿で惜しみなく教えてくださいます。中継のモニターを通してあふれる愛が伝わってきました。笑い話があり、時には涙し、生身の姿で教えてくださる由井先生が大好きです。他にも素敵な先生方と友達に出会いました。私はホメオパシーを知りたくて入学しましたが、今では、ホメオパスになってホメオパシーを必要としている人に届けたい！と強く思っています。

この学校案内をご覧の皆さん。ホメオパシーに出合えてよかったですね。もし、学びたいという気持ちがあるとしてもありましたら、ご自身の気持ちに正直に従って学校に飛び込んでみる事をお勧めします。それぞれの命を、ますますイキイキと

生きられますことを願っています。」

.....

生きることが

薬になる

Chhom 2期 S・Tさん

三食きちんと食べて、きちんと寝てという生活を送っているのに体が不調だ、というお友達の声が多く、自分自身も花粉症や理由の分からない慢性疲労になっていて健康に関して疑問を持つようになりましたが、その疑問に対して特に行動を起こしていませんでした。

子どもの乳児湿疹がひど



くなり、病院を受診するとステロイド軟膏を処方されました。生まれたての赤ちゃんとそういったものを使っているのか、健康に対して人任せでいいのかと改めて考え、色々探していくうちに偶然ホメオパシーをやっている人との出会いがありました。自分の免疫力を高めていく療法だと教えて頂き、実際に使ってみて、子どもの皮膚の状態がどんどん良くなっていったので、自分の力で治るって素晴らしいな、と思いました。

もっと色々知りたいな！と思い、Chhomに入学を決めました。まさにその時、ホメオパシーバッシングの真っ最中だったので、人から聞いた噂ではなく、自分自身で見聞きしたものがすべてだと思い、迷いなく入学試験を受けました。

四年間色々勉強できて本当に楽しかったです。自分の体を今まで人任せにしてきたなと思いましたし、自

分の心身のことは、自分が本当は一番分かっている。そのことをものすごく実感出来て本当によかったと思います。これからもまだまだ勉強していきます。

由井先生は、よく「自身を苦しめているのは自分自身だよ、自分が作った道徳なんだよ」とお話ししていらつしやいます。入学当時の私は、色々がなじがらめ、そんな自分自身になかなか気が付けなかつて、「そんなこと言っても自分がやらなきゃ誰もやってくれない」と思いながら頑張っていました。先生に「繰り返し繰り返し、自分を大事に、自分にやさしく。道徳なんて気にしなくていいだよ」と教えて頂く中で、その言葉がだんだん自分の中にスーと入ってくるようになり、ある時、こんな自分でもいいんだ、自分は生かされているんだ、と、ふつと自分の中に落ちた瞬間がありました。

そこから本当に楽になつてきて、ちよつとイラツとする事があつても、これで大丈夫なんだ、起つたことは起つたことではないんだ、と受け止められるようになったので、すぐく生きやすくなりました。また支えてくれる家族に感謝して、家族に対して自分にできることをやっていたらこうという糧にもなりました。

.....

### 他にはない特別な学生生活

CHhom9期K・Sさん

私がCHhomに入ってきたきっかけは、まずはインターチャイルドコースに一年間通い、その間での自分の変化がものすごくあったのが一番です。インターチャイルドコースに行くというのはあらか



じめ決まっていたんじゃないかというぐらいい思が固まってきました。

CHhomの学生生活は幸せです。一緒に入った同級生たちの個性が強いのがあつて、何か不思議な繋がりをを感じる仲間に、四年間一緒にホメオパシーを学ぶことができることは幸せだなと思つています。高校とか、今まで育つてきた環境を考えても何かこういう人間的な繋がりを感ずるということがなかったの、この学校の特別さは本当に思います。

人生って一度しかなくて、こういう時代で生きていくと自分は何をするべきなのか、自分のしたいこと

がよく分からない。分かっている人の方が少ないのではないでしょうか。私も子どもを産んでずっとモヤモヤして、生きてはいるけど、これからどうしたらいいのだろうと思いつながら生きていました。多分そういう人って多いんじゃないかと思うのです。やっぱりホメオパシーをやってみたらという思いにサードアイも開いていて、自分にきちんと役割とか教えてもらえているチャンスの時だと思つたので、そういう言葉に逆らわずに受け入れてやってみるのもすごくいいのかなと思つきました。

私は本当に由井先生に出会えてよかったと思つています。壮絶な人生の中に、すごく人間味溢れるところがあつたりと、自分も重なる部分があり、先生が壮絶な人生でもこうやって生きてこられたと、自分の人生をさらけ出して人を助けてくれる人ってなかなかいない

.....

### 分りあえる仲間とともに学ぶ

CHhom10期N・Iさん

ファミリーホメオパスコース（以降 ファミホメ）で、一年間学びすごく楽しくて、いざれプロフェッショナルコースに入りたいなと思つていました。

ファミホメで疑問に思つていたことが四年制に入つてみて、「あつ、こういうことだったんだ」というのがすごく分かり、楽しく勉強できています。

CHhomは、まず同期の学生の方が同じ志を持

ついで、話が分かり合えて、気持ちを通じ合えますし、ホメオパシーをされる方っていろいろ辛い事とかあったと思うので、そういう点でなんとなく分かり合えるというのが、他の学校と大きく違う点かなと思います。そして、由井先生を始め、講師の方がすごく熱心で、ご自身の全てをかけて教えてくださり、今まで習った学校とは全然違うと感じます。

由井先生の授業は聞いていただけで、なぜか知らないけれど涙が出てきて、先生に別に私の人生を話したことはないのですけれど、本当に全てお見通しという感じで、日本国民の母とい



うかお母さんという存在感の方だなと思っていて、由井先生が先にホメオパシーに出会ってくださって、それを私たちに教えてくださって、先生が生きている時代に自分が生まれることができて良かったなど、感謝ですし、本当にイギリスからホメオパシーを持ってきてくださった由井先生に感謝以外の表現のしようがないという感じです。

## Chhomは日本のホメオパシーの総本山

Chhom 10期 M・Aさん

学校生活はとても楽しいです。いろいろな要素が授業の中に詰っていて、人間の体のことであったり、病理のことであったり、鉱物とか植物とかいろんな原料を使ってレメディーは作られ



ていますので、植物の知識であるとか、鉱物の知識であるとか、すごく興味深く、教わっていて楽しい感覚です。それとやっぱり普通の学校と違っていろいろな経験をされた方がたくさん来ていらっしゃるの、ただ高校を出て、大学を出てとかいう若い方が学校に行く感覚と違う、社会に出て、いろいろな経験を積んだり、お子さんを出産されたり、子育てを終えられたりした方が来ているので、人生の経験値の多い方がたくさんいらっしゃる。それと同じ志を持って学びを深めていこうという強い意志、気高い志を持った方がたくさん集まっているところなので、そういう意味で一緒にいて

心地よい刺激を与えていただけるところだと思っています。

由井先生自身がとても過酷な人生を送られてきた方ですので、やっぱりその中でなんとかしたいという気持ちとかこの人をどうにかしてあげたいという他者に対して共感を持たれたりとかそういう方だと思っております。本当に先生ご自身の体験を踏まえて大変な思いはなさったと思うのですけれど、イギリスでこういったメソッドを学ばれて、それを日本に持ち帰ってくださったというのが私はすごいことだと思っています。正直、このホメオパシーを学ぶにあたって、いろいろインターネットとかでも検索しました。学校もたくさんありますし、一年間で費用も抑えられてホメオパスという呼称を与えられるという学校もあったのですけれど、やっぱりホメオパシーを日本に持ってきて、学校を作って、ここまで広

めたのは、由井先生のグループじゃないですか。ある意味四年間長いし、費用も掛かるしと思ったのですが日本のホメオパシーの総本山はここだという最終的な決め手はそこです。

やっぱり由井先生の元で学びたいという気持ちと、先生の考え方に私の気持ちとが合致して、私自身の方向性が間違っていないという風に感じています。由井先生がいるところでホメオパシーを学んで、実際にお会い出来たらなと思って入学して、実際にお会いしたら普通な感じで気さくな感じ、すごい方なんだと思っていたら普通にいらっしやるので、またそれが奇妙な感覚ながらも感動だったりしております。由井先生に本当に今私がこういう状態で楽しく学びをさせていただいていることにとてもありがたいと思っています。

# CHhom その他のコース案内

## ●プロフェッショナルホメオパスコース (4年制、最短2年で終了も可能)

ホメオパシーを本格的に学び、日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA) 認定ホメオパス合格を目指すコースです。プロフェッショナルホメオパスコースは、プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能および現代医学の基礎知識を学べる講座です。ホメオパシーに特化した授業を専門的に学べます。また、ハーブ療法、フラワーエッセンスなどのホメオパシー統合医療の科目はオプション(有料)で学ぶこともできます。

## ●ファミリーホメオパスコース (1年制)

家族や親しい友人が明るく人生を生きられるように日々起こる急性の症状や心のショックに対して、ホームキットを的確に使いこなしていくホメオパシーの家庭専門家(ファミリーホメオパス)のコースです。コースを修了後、一般財団法人 日本ホメオパシー財団により認定される「ファミリーホメオパス」の受験資格が取得できます。

## ●インナーチャイルドセラピストコース (1年制)

インナーチャイルドセラピストは、日常起こるさまざまな心の問題に対して相談を受け、インナーチャイルド癒しのアドバイスやホメオパシーのレメディーやフラワーエッセンス等のアドバイスをを行い、一般の方々の精神的な健康をサポートしていくセラピストのことをいいます。インナーチャイルドの意味と癒しの技術を学び、レメディーとフラワーエッセンスを活用し、人生を楽に生きるためのコースです。コースを修了後、一般財団法人 日本ホメオパシー財団により認定される「インナーチャイルドセラピスト」の受験資格が取得できます。

## ●アニマル・ホメオパスコース (1年制)

獣医学の知識のない学生でも無理なく学ぶことができるよう、解剖・生理・病理の時間を十分にとっています。授業では現役のアニマルホメオパスでもある講師陣より、数多くの動物のケースを学ぶことができます。

※プロフェッショナルコースに入学後、2年次より受講可能です。

※修了試験に合格することで、日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA) 認定アニマルホメオパスの資格認定を取得できます。

## 由井名誉学長 CHhom 特別講座『新 霊性オルガノン』コースのご案内

由井名誉学長特別講義『オルガノン』講読全6回コースは、ハーネマンのオルガノンを踏まえた実践経験を重ねられた由井名誉学長ならではの内容となっており、貴重な機会です。

ホメオパシーを学び、実践する者にとって、ハーネマンのホメオパシーの哲学、原理、方法論を理解することは、基本であり、とても大切なことです。由井名誉学長のオルガノン講読を通して、さらに理解が深まり、ホメオパシーを実践していく上での基盤が確立できることと思います。

由井名誉学長は、「*「*医術のオルガノン 第六版*」*の内容を踏まえて、ハーネマンが、現代に生きていたらどう考えるのか、という観点も含め、オルガノン第六版の先を行く講義を行っています。

※私達は皆、まだ学びの途中にいますが、本コースを受講する前に「*「*医術のオルガノン*」*について、できる限り読み込んでから受講するようにしてみてください。分からない所や疑問に思う所はどこか、自分が何が分からないのか、「分からない所を分かった」上で、受講していただくことで、本コースでの学びがより深まる事と思います。

2024年度コース：eラーニング視聴開始時期は別途ご案内

自己治癒力を触発する  
ホメオパシーを学ぶとは  
すべての命を救うこと



ホメオパシー統合医療専門校

シーエイチホーム

**College of Holistic Homoeopathy (CHhom)**

一般財団法人 日本ホメオパシー財団 認定校 カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー

【東京校】 カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー 事務局

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-2-3 矢藤第3ビル TEL:03-5797-3250/FAX:03-5797-3251

E-mail: CHhom@homoeopathy.ac URL: <http://www.homoeopathy.ac>